

学生確保の見通し等を記載した書類

資料目次

資料 1	DX 動向 2025 (P50-51 抜粋)	2
資料 2	北海道総合計画 (P82 抜粋)	4
資料 3	リクルート進学総研 マーケットリポート 2025 (一部抜粋)	5
資料 4	私立大学 学部系統別志願者増減表《北海道》(豊島継男事務所 調査) ...	11
資料 5	北海道情報大学 新学科設置計画に係るニーズ調査報告書 (高校生編)	12
資料 6	北海道情報大学 新学科設置計画に係るニーズ調査報告書 (事業所編)	48
別紙 1	新設組織が置かれる都道府県への入学状況	82
別紙 2	既設学科等の入学定員の充足状況	83
別紙 3	既設学科等の学生募集のための PR 活動の過去の実績	85

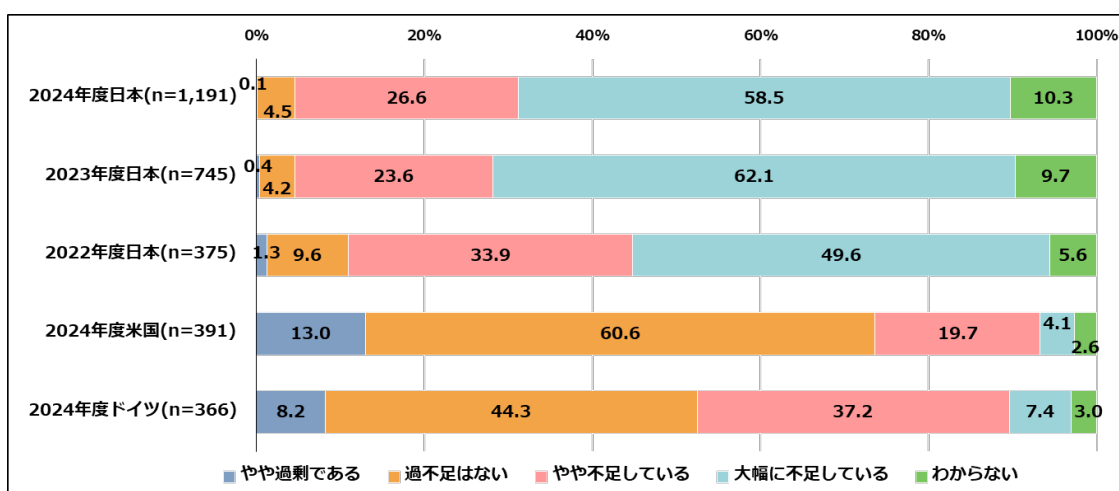
独立行政法人情報処理推進機構「DX動向2025」P50-51抜粋

3.2. 人材の過不足状況

DX を推進する人材の「量」の確保状況について尋ねた結果、日本は「やや不足している」「大幅に不足している」の割合の合計が 85.1%となっており、2023 年度調査の結果と同様、大半の企業で DX 推進人材が不足している状態となっている（図表 3-1）。

また、米国とドイツにおいては「やや過剰である」「過不足はない」の割合の合計がそれぞれ 73.6%、52.5%となっている。人材不足を感じているのは日本だけであり、米国とドイツにおいてはそれほど深刻な状態ではないと考えられる。

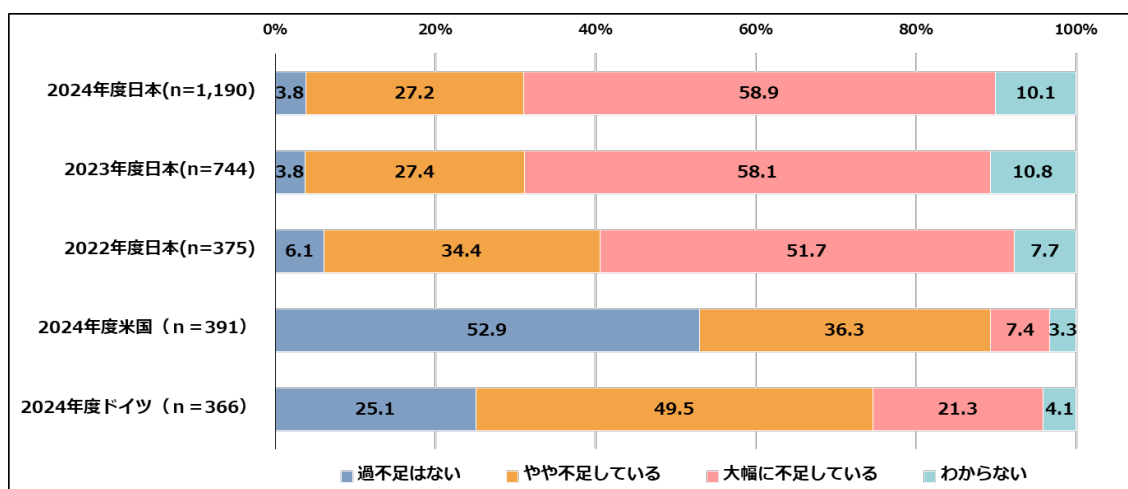
図表 3-1 DX を推進する人材の「量」の確保（経年変化・国別）



DX への取組状況の設問で「全社戦略に基づき、全社的に DX に取組んでいる」「全社戦略に基づき、一部の部門において DX に取組んでいる」「部署ごとに個別で DX に取組んでいる」と回答した企業が対象

DX を推進する人材の「質」の確保状況について尋ねた結果、「過不足はない」と回答した企業の割合は、日本は 3.8%、米国は 52.9%、ドイツは 25.1%であり、国ごとに大きな違いがみられる（図表 3-2）。日本は 2022 年度調査結果、2023 年度調査結果でも同様の傾向で、DX を推進する人材の量・質ともに大きく不足している状況は変化していない。ドイツは量的な不足感はそれほどないものの、質は「やや不足している」「大幅に不足している」の割合の合計が 70.8%であり、質に課題を感じていると考えられる。

図表 3-2 DX を推進する人材の「質」の確保（経年変化・国別）



DX への取組状況の設問で「全社戦略に基づき、全社的に DX に取組んでいる」「全社戦略に基づき、一部の部門において DX に取組んでいる」「部署ごとに個別で DX に取組んでいる」と回答した企業が対象

- 地域の足として重要なインフラである地域交通の維持を図るとともに、利便性が高くストレスのない公共交通を実現するため、地域の関係者間の連携体制を構築し、※MaaSの展開や交通結節機能の充実などによる交通事業者間の連携拡大など、隣接地域間の連携拡大に取り組み、施設の共同化など事業者の生産性向上を促進しながら、公共交通機関相互が緩やかな連携を図る「※北海道型運輸連合」に向けた検討を進めます。
- 貨物の集積と国際物流拠点の形成に向けて、国際航空路及び航路の拡大とともに、※国際拠点港湾や※国際バルク戦略港湾をはじめとした本道港湾の国際貨物拡大に向けた産学官の連携、生鮮品の輸出等に対応した物流機能の強化、新たな貨物拡大に向けた連携体制の強化を推進します。また、本道は物流の大半を海上輸送に依存していることから、災害発生後の港湾物流機能の継続を円滑かつ確実に実施していくため、広域港湾※BCPの実効性の向上を推進します。
- 輸送時間の短縮による、農水産物の生産性向上や救急輸送の円滑化、広域観光ルートの形成に向け、※ミッシングリンクの解消や※暫定2車線区間の4車線化など、高規格道路をはじめとする道路ネットワークの整備を促進します。

地域の可能性を広げるデジタル・トランスフォーメーションの推進

- 北海道が抱える様々な課題を解決し、将来にわたり誰もが安全・安心で豊かな生活を送ることができる社会の実現に向け、※ICTを全ての根幹のインフラとして、医療、福祉、教育、交通・物流、防災などの様々な分野で、データを活用して地域の特性や実情等を踏まえた未来技術の活用を推進します。
- ICTや※AI、ロボット等の未来技術を活用した産業振興と多様な主体の連携による新たな価値の創造に向け、農林水産業をはじめ、ものづくりや観光、建設業における建設工事の自動化など、様々な場面での未来技術の活用を積極的に進め、生産性の向上やサービス産業の高付加価値化などの実現に加え、労働力不足の解消などの様々な課題の解決に向けた※DX（デジタル・トランスフォーメーション）を推進します。
- 未来技術を支える社会的・人的基盤を整備するため、※条件不利地域における※ブロードバンド環境の整備や普及が加速する※5Gの活用を促進するほか、データ連携に向けた基盤の構築や、未来技術に親しみ、使いこなすことのできるデジタル人材の育成・確保を進めます。

関連するSDGsの目標



リクルート進学総研 マーケットリポート2025

【全国版】

18歳人口予測

大学・短期大学・専門学校進学率

地元残留率の動向

【将来予測 2025～2037年】

■ 18歳人口予測 P3～P8

- ・ 2025年110.1万人→2037年91.6万人（18.5万人減少）
- ・ 東北の減少率が高く、6県中4県で減少率25%以上
- ・ 2025年比減少率が高いのは東北（74.7%）、減少数が多いのは南関東（32,290人減）

【経過推移 2016年～2025年】

■ 進学率（現役・過年度含）の推移 P9～P22

大学進学率（現役）

- ・ 2016年48.4%→2025年58.3%（9.9ポイント上昇）
- ・ 1位 北海道（134.4）、2位 北陸（124.4）、3位 四国（123.3）※注
- ・ 進学率が高いのは、南関東、近畿、東海の三大都市圏

短期大学進学率（現役）

- ・ 2016年4.9%→2025年2.6%（2.3ポイント低下）
- ・ 1位 南関東（41.7）、2位 東海（46.2）、3位 北海道（47.1）※注
- ・ 進学率が高いのは、北陸、甲信越、東北

専門学校進学率（現役）

- ・ 2016年16.0%→2025年14.4%（1.6ポイント低下）
- ・ 低下が大きいのは、1位 四国（83.5）、2位 南関東（83.8）、3位 近畿（88.1）※注
- ・ 進学率が高いのは、北海道、甲信越、九州沖縄

都道府県別進学率（現役・2025年）

- ・ 大学進学率1位は東京、短期大学進学率1位は大分、専門学校進学率1位は新潟・沖縄

大学・短期大学・専門学校進学率（現役・過年度含 比較・2016～2025年）

- ・ 2025年現役と過年度含の進学率の差は大学は0.3ポイント、短期大学は0.1ポイント、専門学校は8.7ポイント（ともに過年度含が高い）

※注）（）内の数値は、2016年を100としたときの2025年の指数

■ 地元残留率の推移 P23～P31

- ・ 大学入学者の地元残留率は、2016年43.7%→2025年45.4%（1.7ポイント上昇）
- ・ 短期大学入学者の地元残留率は、2016年69.0%→2025年71.1%（2.1ポイント上昇）
- ・ 大学入学者の地元残留率1位は愛知（72.5%）
- ・ 短期大学入学者の地元残留率1位は福岡（90.5%）

■ 18歳人口減少率×地元残留率 P32・33

- ・ 大学入学者：都道府県別：2025→2037年
- ・ 短期大学入学者：都道府県別：2025→2037年

【本件に関するお問い合わせ先】
株式会社リクルート リクルート進学総研
<https://souken.shingakunet.com/>

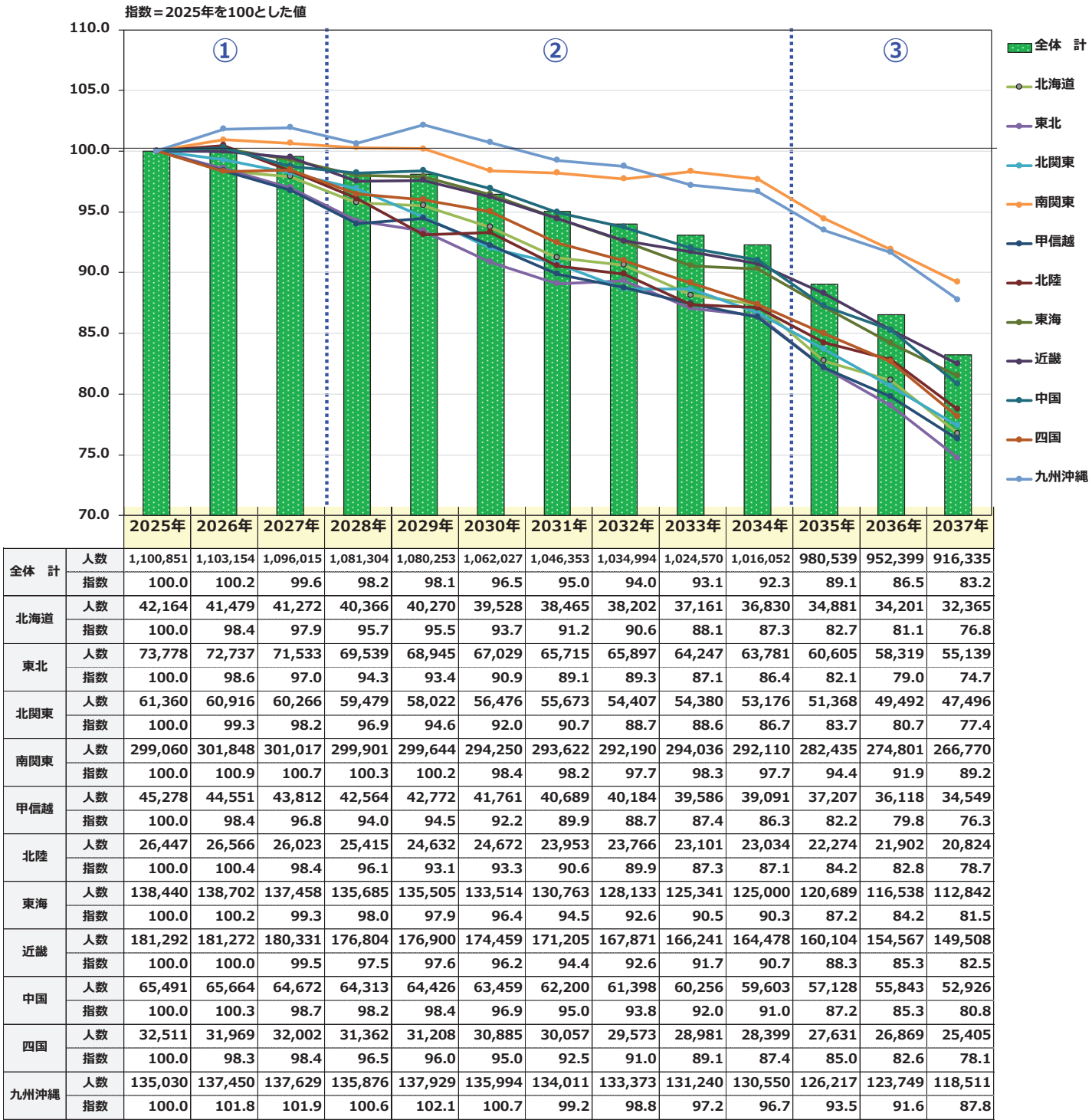
18歳人口予測（全体：エリア別：2025～2037年）

■減少率が高いのは東北（2025年比74.7%）、減少数が多いのは南関東（32,290人減）

- ・減少率が高いのは、1位 東北（2025年比74.7%）、2位 甲信越（76.3%）、3位 北海道（76.8%）。
- ・減少数が多いのは、1位 南関東（32,290人減）、2位 近畿（31,784人減）、3位 東海（25,598人減）。
- ・減少率が低いのは、1位 南関東（89.2%）、2位 九州沖縄（87.8%）、3位 近畿（82.5%）。
- ・エリア別の18歳人口は、以下の3段階を経て減少する。

- ① 2025～2027年：全国で110万人前後で横ばいが続く時期
- ② 2028～2034年：1～2万人程度減少する時期
- ③ 2035～2037年：3～4万人と大きく減少する時期

注）減少率＝2037年人数÷2025年人数で算出。



※データ元：文部科学省「学校基本調査」

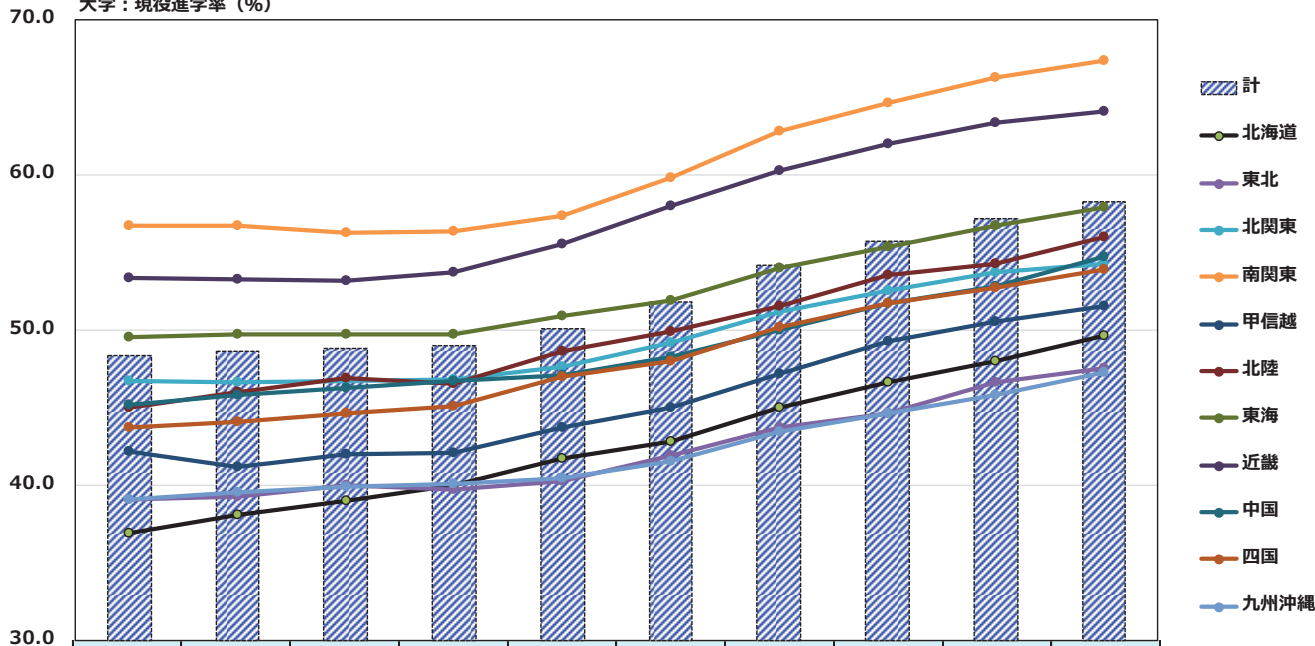
大学進学率の推移（現役：エリア別：2016～2025年）

■2016年48.4%→2025年58.3%（9.9ポイント上昇）

- ・全国の大学進学率は48.4%→2025年58.3%と、10年間で9.9ポイント上昇。
- ・2020年から50%台の進学率となり、2023年には55%を超えた。
- ・2016年～2020年（48.4%→50.1%）の5年間に對して、
2021年～2025年（51.8%→58.3%）の5年間の進学率が伸びている。
- ・上昇が大きいのは、1位 北海道（134.4）、2位 北陸（124.4）、3位 四国（123.3）。※注
- ・上昇が小さいのは、1位 北関東（116.3）、2位 東海（117.0）、3位 南関東（118.9）。※注
- ・2025年進学率が高いのは、1位 南関東（67.4%）、2位 近畿（64.1%）、3位 東海（57.9%）。

※注（）内は指数＝2016年を100として算出

大学：現役進学率（%）

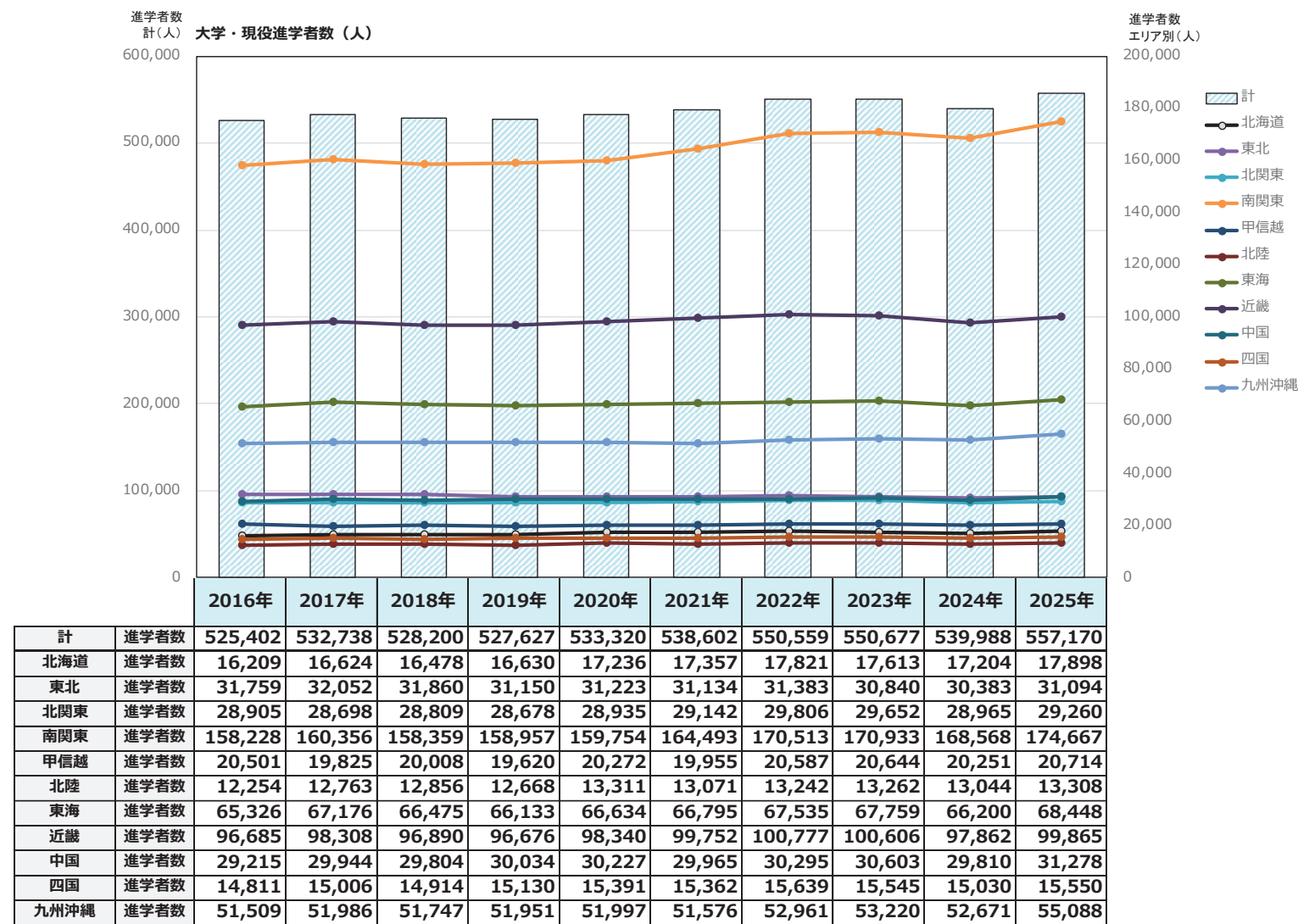


		2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年
計	進学率	48.4	48.6	48.8	49.0	50.1	51.8	54.2	55.7	57.2	58.3
	指数	100.0	100.4	100.8	101.2	103.5	107.0	112.0	115.1	118.2	120.5
北海道	進学率	36.9	38.1	39.0	40.0	41.7	42.8	45.0	46.6	48.0	49.6
	指数	100.0	103.3	105.7	108.4	113.0	116.0	122.0	126.3	130.1	134.4
東北	進学率	39.1	39.3	40.0	39.7	40.3	41.9	43.7	44.6	46.6	47.5
	指数	100.0	100.5	102.3	101.5	103.1	107.2	111.8	114.1	119.2	121.5
北関東	進学率	46.7	46.6	46.7	46.8	47.6	49.2	51.2	52.5	53.7	54.3
	指数	100.0	99.8	100.0	100.2	101.9	105.4	109.6	112.4	115.0	116.3
南関東	進学率	56.7	56.7	56.3	56.4	57.4	59.8	62.8	64.6	66.3	67.4
	指数	100.0	100.0	99.3	99.5	101.2	105.5	110.8	113.9	116.9	118.9
甲信越	進学率	42.2	41.2	42.0	42.1	43.7	45.0	47.2	49.3	50.5	51.5
	指数	100.0	97.6	99.5	99.8	103.6	106.6	111.8	116.8	119.7	122.0
北陸	進学率	45.0	46.0	46.9	46.5	48.6	49.9	51.5	53.5	54.3	56.0
	指数	100.0	102.2	104.2	103.3	108.0	110.9	114.4	118.9	120.7	124.4
東海	進学率	49.5	49.7	49.7	49.7	50.9	51.9	54.0	55.4	56.7	57.9
	指数	100.0	100.4	100.4	100.4	102.8	104.8	109.1	111.9	114.5	117.0
近畿	進学率	53.4	53.3	53.2	53.7	55.5	58.0	60.3	62.0	63.4	64.1
	指数	100.0	99.8	99.6	100.6	103.9	108.6	112.9	116.1	118.7	120.0
中国	進学率	45.2	45.8	46.3	46.7	47.1	48.3	50.0	51.7	52.8	54.7
	指数	100.0	101.3	102.4	103.3	104.2	106.9	110.6	114.4	116.8	121.0
四国	進学率	43.7	44.1	44.6	45.1	47.0	48.0	50.2	51.7	52.7	53.9
	指数	100.0	100.9	102.1	103.2	107.6	109.8	114.9	118.3	120.6	123.3
九州沖縄	進学率	39.1	39.5	39.9	40.1	40.4	41.5	43.4	44.6	45.8	47.3
	指数	100.0	101.0	102.0	102.6	103.3	106.1	111.0	114.1	117.1	121.0

※データ元：文部科学省「学校基本調査」

進学者数の推移（現役：エリア別）

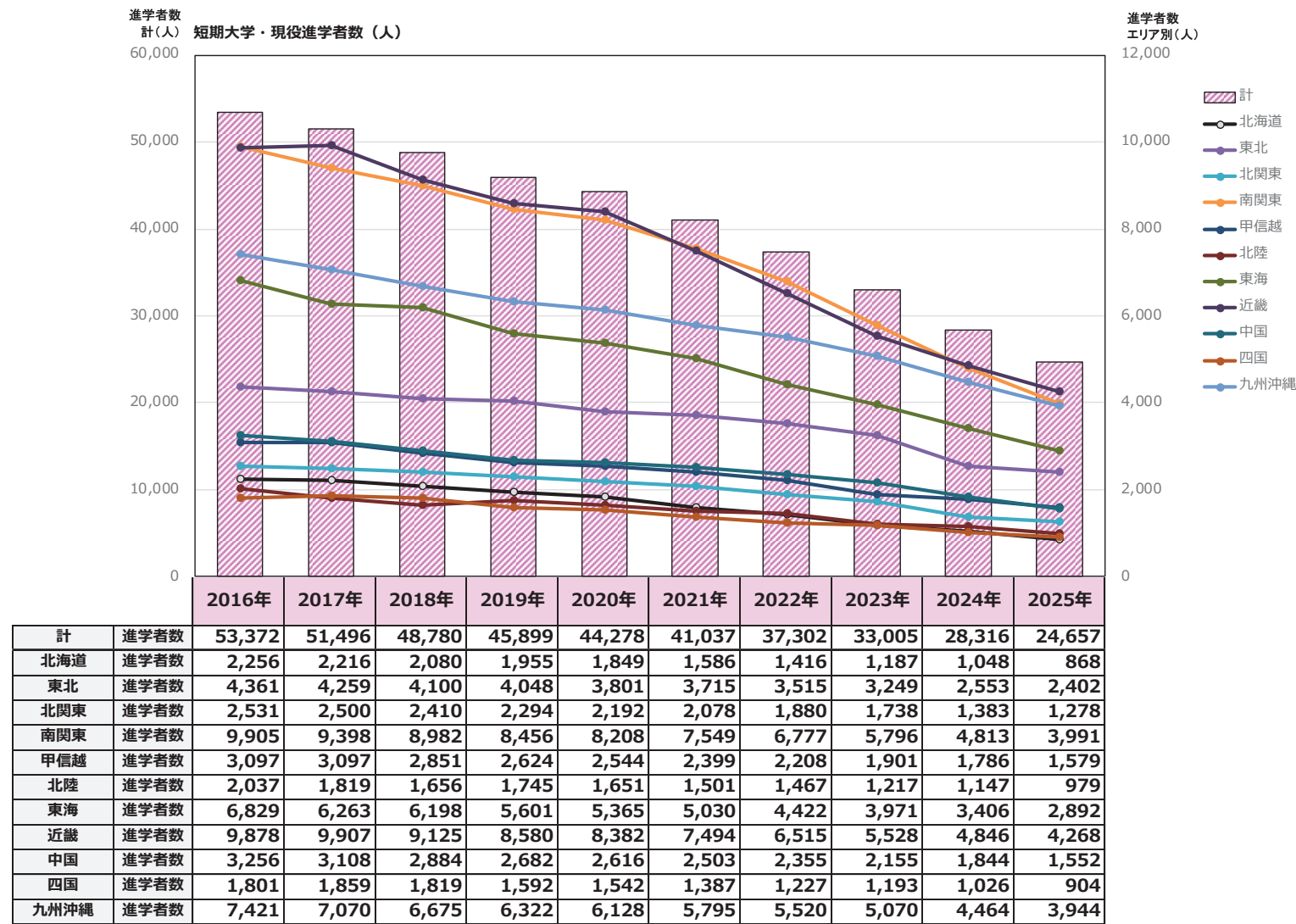
（参考）大学進学者数の推移



※データ元：文部科学省「学校基本調査」

進学者数の推移（現役：エリア別）

（参考）短期大学進学者数の推移



※データ元：文部科学省「学校基本調査」

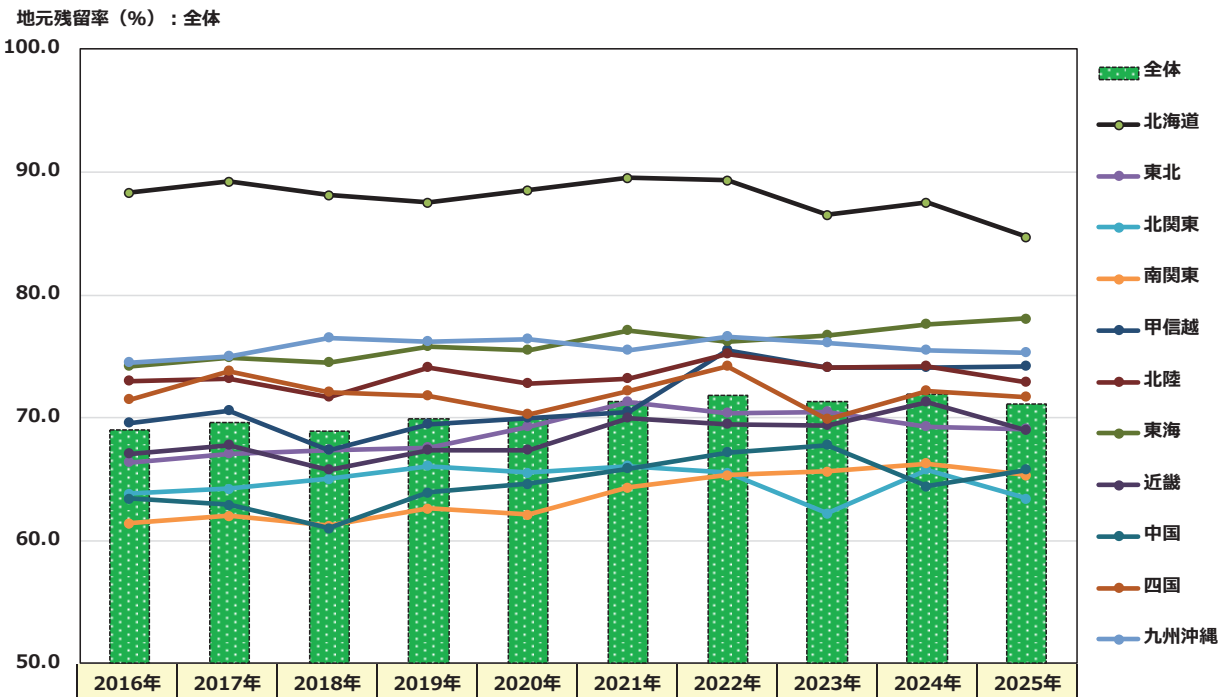
地元残留率の推移（全体：短期大学入学者数：エリア別：2016～2025年）

■2016年69.0%→2025年71.1%（2.1ポイント上昇）

- ・全体で2016年69.0%→2025年71.1%と2.1ポイント上昇。
- ・2025年上昇が大きいのは、1位 甲信越（106.6）、2位南関東（106.4）、3位 東海（105.3）。※注
- ・2025年残留率が高いのは、1位 北海道（84.7%）、2位 東海（78.1%）、3位 九州沖縄（75.3%）。
- ・2025年残留率が低いのは、1位 北関東（63.4%）、2位 南関東（65.3%）、3位 中国（65.8%）。

※注（）内は指数=2016年を100として算出

■地元残留率の推移：全体（短大入学者：各エリア：2015年→2024年）



		2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年
全体	残留率	69.0	69.6	68.9	69.9	69.9	71.3	71.8	71.3	71.9	71.1
	指数	100.0	100.9	99.9	101.3	101.3	103.3	104.1	103.3	104.2	103.0
北海道	残留率	88.3	89.2	88.1	87.5	88.5	89.5	89.3	86.5	87.5	84.7
	指数	100.0	101.0	99.8	99.1	100.2	101.4	101.1	98.0	99.1	95.9
東北	残留率	66.4	67.1	67.4	67.6	69.3	71.3	70.4	70.5	69.3	69.1
	指数	100.0	101.1	101.5	101.8	104.4	107.4	106.0	106.2	104.4	104.1
北関東	残留率	63.8	64.2	65.0	66.1	65.5	66.1	65.5	62.2	65.8	63.4
	指数	100.0	100.6	101.9	103.6	102.7	103.6	102.7	97.5	103.1	99.4
南関東	残留率	61.4	62.0	61.2	62.6	62.1	64.3	65.3	65.6	66.3	65.3
	指数	100.0	101.0	99.7	102.0	101.1	104.7	106.4	106.8	108.0	106.4
甲信越	残留率	69.6	70.6	67.4	69.5	70.0	70.5	75.5	74.1	74.1	74.2
	指数	100.0	101.4	96.8	99.9	100.6	101.3	108.5	106.5	106.5	106.6
北陸	残留率	73.0	73.2	71.7	74.1	72.8	73.2	75.2	74.1	74.2	72.9
	指数	100.0	100.3	98.2	101.5	99.7	100.3	103.0	101.5	101.6	99.9
東海	残留率	74.2	74.9	74.5	75.8	75.5	77.1	76.2	76.7	77.6	78.1
	指数	100.0	100.9	100.4	102.2	101.8	103.9	102.7	103.4	104.6	105.3
近畿	残留率	67.1	67.8	65.8	67.4	67.4	70.0	69.5	69.4	71.3	69.0
	指数	100.0	101.0	98.1	100.4	100.4	104.3	103.6	103.4	106.3	102.8
中国	残留率	63.4	62.9	61.0	63.9	64.6	65.9	67.2	67.8	64.4	65.8
	指数	100.0	99.2	96.2	100.8	101.9	103.9	106.0	106.9	101.6	103.8
四国	残留率	71.5	73.8	72.1	71.8	70.3	72.2	74.2	69.9	72.2	71.7
	指数	100.0	103.2	100.8	100.4	98.3	101.0	103.8	97.8	101.0	100.3
九州沖縄	残留率	74.5	75.0	76.5	76.2	76.4	75.5	76.6	76.1	75.5	75.3
	指数	100.0	100.7	102.7	102.3	102.6	101.3	102.8	102.1	101.3	101.1

※データ元：文部科学省「学校基本調査」

私立大学 学部系統別志願者増減表《北海道》

学部系統	25年度	24年度	増減	指数
法・政治	1,958	1,825	133	107.3
経済・経営・商	7,083	6,502	581	108.9
総合政策・政策科学				
社会・社会福祉	856	898	-42	95.3
環境	353	283	70	124.7
国際・外国語	413	389	24	106.2
情報	6	7	-1	85.7
文・人文・教養・心理	3,247	3,365	-118	96.5
理	533	488	45	109.2
理工・工	4,972	4,799	173	103.6
農・生命科学	4,585	3,744	841	122.5
医				
看護・医療技術	6,649	6,621	28	100.4
歯	442	403	39	109.7
薬	1,303	1,410	-107	92.4
生活科学・家政	447	621	-174	72.0
教員養成・教育	165	237	-72	69.6
芸術・デザイン	116	145	-29	80.0
スポーツ	253	211	42	119.9
総合科学	313	502	-189	62.4
私立大・計	33,694	32,450	1,244	103.8

25.5.23現在

(豊島継男事務所 調査)

北海道情報大学 新学科設置計画に係るニーズ調査報告書
(高校生編)

2026 年 3 月

丸善雄松堂株式会社
Research & Innovation 本部

 **MARUZEN-YUSHODO**

目次

1. 調査概要	2
2. 調査・分析結果の要旨	3
3. 全体集計結果	6
4. 進学需要分析	20
5. 補記	23

1. 調査概要

(1) 調査目的

北海道情報大学 新学科設置計画検討のため、本アンケート調査により高校生の進学需要等を把握し、設置計画の基礎資料とすることを目的とする。

(2) 調査対象

北海道情報大学 総合情報学部 情報理工学科(仮称)への進学ターゲット層等を参考に選定した高等学校に在籍する2年生。

(3) 実施時期

2025年9月17日～2026年1月30日

(4) 回収状況

本調査では148校18,233人を対象に調査票またはWebアンケートURLのいずれかを配布し、その結果125校14,100件の回答を得ることができた。(回収率77.3%)

(5) 調査方法

調査票またはWebアンケートいずれかによる定量調査。(アンケート調査)

(6) 利用調査票

添付アンケート調査票参照。

2. 調査・分析結果の要旨

(1) 調査結果の要旨

①性別

回答者の性別は、「男性」が 6,421 人(49.1%)、「女性」が 6,367 人(48.7%)、「無回答」を選択した人が 272 人(2.1%)、「無回答・無効回答」が 11 人(0.1%)となっている。

②学年

回答者の学年は、「高校3年生」が 67 人(0.5%)、「高校2年生」が 12,883 人(98.6%)、「高校1年生」が 93 人(0.7%)で、「その他」7 人(0.1%)、「無回答・無効回答」21 人(0.2%)となっている。

③高校名

回答者の通う高校は、別添一覧のとおりとなっている。(P.8-10 参照)

④居住地域

回答者の居住地域は、「その他」を除き、「1.石狩・空知」5,862 人(44.8%)が最も多く、次いで「6.十勝」1,218 人(9.3%)、「3.檜山・渡島」977 人(7.5%)となっている。

⑤高校卒業後の進路

回答者の高校卒業後の進路は、「大学」6,901 人(52.8%)が最も多く、「専門学校」4,382 人(33.5%)、「就職」2,952 人(22.6%)と続いている。

⑥進学志望校の設置者

回答者の進学志望校の設置者は、「私立」4,681 人(63.7%)が最も多く、「公立」3,120 人(42.5%)、「国立」2,654 人(36.1%)と続いている。

⑦進学希望分野

回答者の進学希望分野は、第1位が「経済学」1,729 人(23.5%)で、第2位「教育学・保育学」1,295 人(17.6%)、第3位「看護学・医療技術」1,247 人(17.0%)と続いている。

⑧進学先決定時の重視要因

回答者の進学先決定時の重視要因は、「学科、コース等の学びの分野」4,829 人(65.7%)がもっとも多く、次いで「技術・資格の取得」3,143 人(42.8%)、「学費(入学金・授業料)」2,996 人(40.8%)となっている。

⑨北海道情報大学 総合情報学部 情報理工学科(仮称)の受験意向

回答者の北海道情報大学 総合情報学部 情報理工学科(仮称)の受験意向は、「第一志望として受験する」65人(0.9%)、「第二志望として受験する」166人(2.3%)、「第三志望以降として受験する」429人(5.8%)で、何らかの受験意向を持った人の合計は660人(9.0%)となった。

一方、「受験しない」は6,344人(86.3%)、「無回答・無効回答」は343人(4.7%)となっている。

⑩北海道情報大学 総合情報学部 情報理工学科(仮称)への進学意向

回答者の北海道情報大学 総合情報学部 情報理工学科(仮称)への進学意向は、「入学する」が89人(13.5%)、「志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する」が519人(78.6%)で、何らかの進学の意向を持つこれらの回答者の合計は608人(92.1%)となっており、「入学する」のみで入学定員(80人)の1.1倍、「志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する」を含めると入学定員(80人)の7.6倍となっている。

一方、「入学しない」は49人(7.4%)、「無回答・無効回答」は3人(0.5%)となっている。

⑪北海道情報大学 総合情報学部 情報理工学科(仮称)アンケートへの過去回答の有無

回答者の北海道情報大学 総合情報学部 情報理工学科(仮称)アンケートへの過去回答の有無は、「回答したことはない」が7,554人(53.6%)、「回答したことがある」が1,029人(7.3%)、「無回答・無効回答」が5,517人(39.1%)となっている。

(2) 分析結果の要旨

回答総数 14,100 人のうち、「Q11) 北海道情報大学 総合情報学部 情報理工学科(仮称) アンケートへの過去回答の有無」で「回答したことはない」と回答した人は 7,554 人で、うち 7,449 人が「Q2) 学年」で「高校 2 年生」を選択している。

このうち、5,965 人が「Q5) 高校卒業後の進路」として「大学」を選択しており、そのうち 3,804 人は「Q6) 進学志望校の設置者」として「私立」を選択している。さらにそのうちの 375 人が、「Q7) 進学希望分野」として当該新学科の専門分野に関連する「工学」を選択している。

進学希望分野の合致している回答層 375 人のうち、「Q9) 北海道情報大学 総合情報学部 情報理工学科(仮称)の受験意向」で「第一志望として受験する」を選択し、かつ、「Q10) 北海道情報大学 総合情報学部 情報理工学科(仮称)への進学意向」で「入学する」を選択した人数は 16 人となっている。

また、進学希望分野の合致している回答層 375 人のうち、「Q9) 北海道情報大学 総合情報学部 情報理工学科(仮称)の受験意向」で「第二志望として受験する」を選択し、かつ、「Q10) 北海道情報大学 総合情報学部 情報理工学科(仮称)への進学意向」で「志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する」を選択した人数は 30 人、「Q9) 北海道情報大学 総合情報学部 情報理工学科(仮称)の受験意向」で「第三志望以降として受験する」を選択し、かつ、「Q10) 北海道情報大学 総合情報学部 情報理工学科(仮称)への進学意向」で「志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する」を選択した人数は 79 人となっている。

北海道情報大学 総合情報学部 情報理工学科(仮称)への進学需要は、第一志望のみで入学定員 80 人の 0.2 倍、第二志望を含めると入学定員 80 人の 0.6 倍、第三志望以降まで含めると入学定員 80 人の 1.6 倍となる。

また、「Q7) 進学希望分野」として「その他」を選択し自由記述回答欄にて”情報”を含む回答をしている層も、当該新学科への進学層となる可能性があると考えられるため、当該新学科の教育・研究内容を広く周知することにより、進学層の拡大が見込まれる。

さらに、「Q7) 進学希望分野」として「その他」を選択し自由記述回答欄にて「未定」「まだ決まっていない」と回答している層も一定数いることから、当該層に対しても総合情報学部 情報理工学科(仮称)における教育研究内容をより丁寧に説明することにより、当該学科への進学層を拡大することが可能であると考ええる。(P. 20-22)

3. 全体集計結果

※Q11（アンケートへの過去回答の有無）にて、「回答したことがある」を選択した
1,029人を除外して集計。

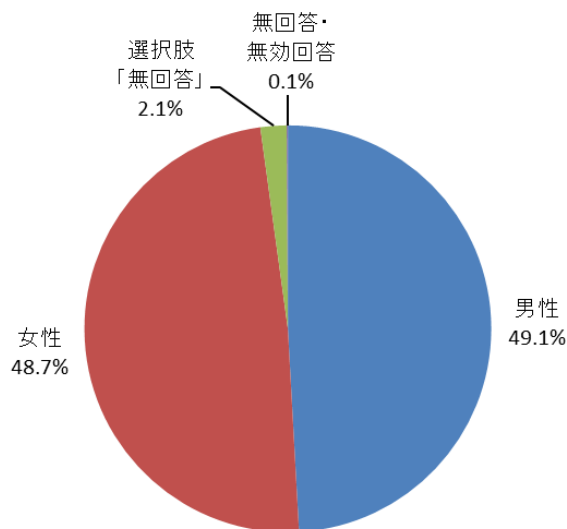
Q1) 性別

回答者の性別は、「男性」が6,421人(49.1%)、「女性」が6,367人(48.7%)、「無回答」を選択
した人が272人(2.1%)、「無回答・無効回答」が11人(0.1%)となっている。

Q1) あなたの性別はどちらですか。該当するものに○をつけてください。(1つ選択)

	回答数(人)	構成比(%)
全体	13,071	100.0%
男性	6,421	49.1%
女性	6,367	48.7%
選択肢「無回答」	272	2.1%
無回答・無効回答	11	0.1%

Q1



*パーセンテージは小数点以下第二位を四捨五入し記載

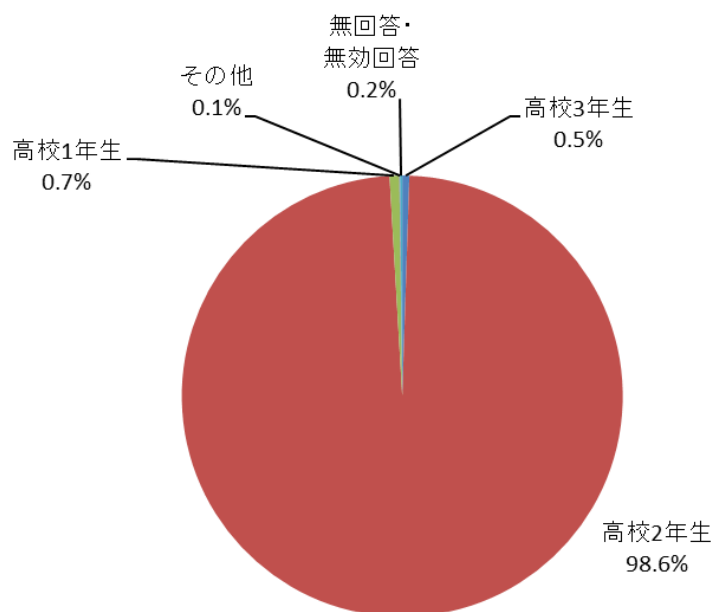
Q2) 学年

回答者の学年は、「高校3年生」が67人(0.5%)、「高校2年生」が12,883人(98.6%)、「高校1年生」が93人(0.7%)で、「その他」7人(0.1%)、「無回答・無効回答」21人(0.2%)となっている。

Q2) あなたの学年について、該当するものに○をつけてください。(1つ選択)

	回答数(人)	構成比(%)
全体	13,071	100.0%
高校3年生	67	0.5%
高校2年生	12,883	98.6%
高校1年生	93	0.7%
その他	7	0.1%
無回答・無効回答	21	0.2%

Q2



*パーセンテージは小数点以下第二位を四捨五入し記載

Q3) 高校名

回答者の通う高校は、以下一覧のとおりとなっている。

Q3) あなたの高校名をご記入ください。

	高校名	回答数(人)	構成比(%)
	全体	13,071	100.0%
1	旭川永嶺高等学校	1	0.0%
2	旭川志峯高等学校	97	0.7%
3	旭川商業高等学校	170	1.3%
4	旭川明成高等学校	187	1.4%
5	旭川龍谷高等学校	155	1.2%
6	網走南ヶ丘高等学校	121	0.9%
7	虻田高等学校	11	0.1%
8	市立札幌啓北商業高等学校	197	1.5%
9	市立札幌平岸高等学校	255	2.0%
10	岩内高等学校	25	0.2%
11	恵庭北高等学校	177	1.4%
12	恵庭南高等学校	186	1.4%
13	遠軽高等学校	126	1.0%
14	長万部高等学校	18	0.1%
15	小樽桜陽高等学校	151	1.2%
16	小樽潮陵高等学校	43	0.3%
17	小樽双葉高等学校	61	0.5%
18	小樽明峰高等学校	63	0.5%
19	海星学院高等学校	32	0.2%
20	上富良野高等学校	22	0.2%
21	北広島高等学校	119	0.9%
22	北広島西高等学校	77	0.6%
23	北見商業高等学校	98	0.7%
24	北見柏陽高等学校	158	1.2%
25	北見北斗高等学校	67	0.5%
26	倶知安農業高等学校	20	0.2%
27	クラーク記念高等学校札幌白石キャンパス	42	0.3%
28	クラーク記念国際高等学校札幌大通キャンパス	35	0.3%
29	クラーク記念国際高等学校旭川キャンパス	11	0.1%
30	クラーク記念国際高等学校本校・深川キャンパス	159	1.2%
31	訓子府高等学校	8	0.1%
32	札幌市立藻岩高等学校	1	0.0%
33	札幌丘珠高等学校	209	1.6%
34	札幌琴似工業高等学校	54	0.4%
35	札幌静修高等学校	234	1.8%
36	札幌第一高等学校	27	0.2%
37	札幌東陵高等学校	213	1.6%
38	札幌北斗高等学校	219	1.7%
39	札幌龍谷学園高等学校	308	2.4%
40	佐呂間高等学校	1	0.0%
41	知内高等学校	33	0.3%
42	寿都高等学校	24	0.2%
43	千歳高等学校	27	0.2%

(次ページへ続く→)

	高校名	回答数(人)	構成比(%)
44	千歳北陽高等学校	96	0.7%
45	苫小牧西高等学校	130	1.0%
46	七飯高等学校	80	0.6%
47	ニセコ高等学校	29	0.2%
48	登別青嶺高等学校	32	0.2%
49	登別明日高等学校	57	0.4%
50	函館大谷高等学校	119	0.9%
51	函館工業高等学校	172	1.3%
52	函館商業高等学校	143	1.1%
53	函館大学付属有斗高等学校	114	0.9%
54	函館西高等学校	5	0.0%
55	東川高等学校	52	0.4%
56	檜山北高等学校	45	0.3%
57	富良野高等学校	111	0.8%
58	北星学園余市高等学校	7	0.1%
59	北海学園札幌高等学校	340	2.6%
60	北海道岩見沢東高等学校	47	0.4%
61	北海道江別高等学校	217	1.7%
62	北海道栄高等学校	94	0.7%
63	北海道札幌東商業高等学校	212	1.6%
64	北海道幕別清陵高等学校	71	0.5%
65	真狩高等学校	19	0.1%
66	室蘭清水丘高等学校	1	0.0%
67	室蘭東翔高等学校	142	1.1%
68	森高等学校	1	0.0%
69	紋別高等学校	94	0.7%
70	湧別高等学校	28	0.2%
71	有朋高等学校	85	0.7%
72	酪農学園大学附属とわの森三愛高等学校	203	1.6%
73	蘭越高等学校	20	0.2%
74	利尻高等学校	14	0.1%
75	留寿都高等学校	9	0.1%
76	稚内大谷高等学校	51	0.4%
77	倶知安高等学校	1	0.0%
78	訓子荷高校	14	0.1%
79	札幌山の手高等学校	190	1.5%
80	札幌新陽高等学校	113	0.9%
81	札幌真栄高等学校	97	0.7%
82	市立札幌新川高等学校	33	0.3%
83	市立函館高等学校	161	1.2%
84	小樽水産高等学校	20	0.2%
85	小樽未来創造高等学校	115	0.9%
86	帯広大谷高等学校	75	0.6%
87	帯広北高等学校	122	0.9%
88	藤女子中学校・高等学校	79	0.6%
89	白樺学園高等学校	144	1.1%
90	函館大学付属柏稜高等学校	87	0.7%
91	飛鳥未来きぼう高等学校	2	0.0%
92	北海道阿寒高等学校	13	0.1%
93	北海道科学大学高等学校	255	2.0%

(次ページへ続く→)

	高校名	回答数(人)	構成比(%)
94	北海道芽室高等学校	141	1.1%
95	北海道岩見沢農業高等学校	82	0.6%
96	北海道岩見沢緑陵高等学校	154	1.2%
97	北海道釧路江南高等学校	150	1.1%
98	北海道釧路商業高等学校	88	0.7%
99	北海道釧路明輝高等学校	140	1.1%
100	北海道栗山高等学校	42	0.3%
101	北海道厚岸翔洋高等学校	15	0.1%
102	北海道根室高等学校	111	0.8%
103	北海道札幌あすかぜ高等学校	65	0.5%
104	北海道札幌手稲高等学校	59	0.5%
105	北海道鹿追高等学校	64	0.5%
106	北海道上士幌高等学校	41	0.3%
107	北海道深川西高等学校	2	0.0%
108	北海道静内高等学校	135	1.0%
109	北海道静内農業高等学校	30	0.2%
110	北海道石狩南高等学校	228	1.7%
111	北海道足寄高等学校	41	0.3%
112	北海道帯広三条高等学校	187	1.4%
113	北海道帯広南商業高等学校	182	1.4%
114	北海道帯広緑陽高等学校	125	1.0%
115	北海道滝川高等学校	3	0.0%
116	北海道滝川西高等学校	155	1.2%
117	北海道長沼高等学校	34	0.3%
118	北海道追分高等学校	20	0.2%
119	北海道弟子屈高等学校	8	0.1%
120	北海道美唄尚栄高等学校	43	0.3%
121	北海道標茶高等学校	44	0.3%
122	北海道標津高等学校	14	0.1%
123	北海道平取高等学校	4	0.0%
124	北海道別海高等学校	59	0.5%
125	北海道霧多布高等学校	10	0.1%
	その他	1,835	14.0%
	無回答・無効回答	157	1.2%

*パーセンテージは小数点以下第二位を四捨五入し記載

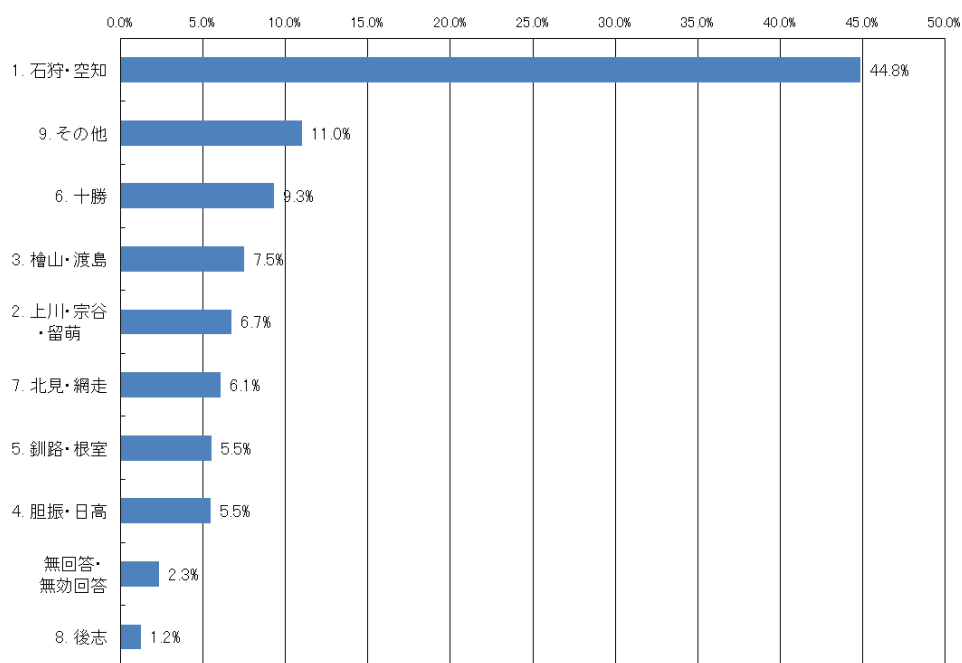
Q4) 居住地域

回答者の居住地域は、「その他」を除き、「1. 石狩・空知」5,862 人(44.8%)が最も多く、次いで「6. 十勝」1,218 人(9.3%)、「3. 檜山・渡島」977 人(7.5%)となっている。

Q4) あなたのお住まいはどちらですか。該当するものに○をつけてください。(1 つ選択)

		回答数(人)	構成比(%)
	全体	13,071	100.0%
1	石狩・空知	5,862	44.8%
2	上川・宗谷・留萌	878	6.7%
3	檜山・渡島	977	7.5%
4	胆振・日高	715	5.5%
5	釧路・根室	724	5.5%
6	十勝	1,218	9.3%
7	北見・網走	794	6.1%
8	後志	160	1.2%
9	その他	1,438	11.0%
	無回答・無効回答	305	2.3%

Q4



*パーセンテージは小数点以下第二位を四捨五入し記載

* 集計注) 選択肢 8. 以降は、アンケート毎に下記のとおりとなっているため、集計は「8. 後志」、「9. その他」として、自由記述の回答を整理・集約した上で集計。

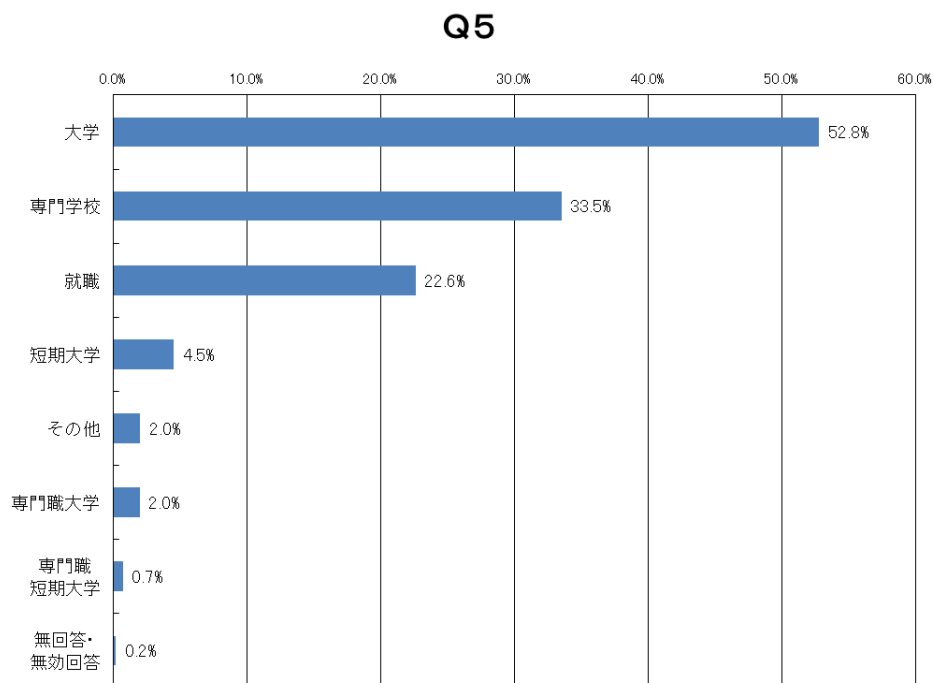
印刷配布アンケート：8. 北海道以外()都道府県／Web アンケート：8. 後志、9. その他()

Q5) 高校卒業後の進路 *複数選択可

回答者の高校卒業後の進路は、「大学」6,901 人(52.8%)が最も多く、「専門学校」4,382 人(33.5%)、「就職」2,952 人(22.6%)と続いている。

Q5) あなたは高校卒業後どのような進路をお考えですか。該当するものに○をつけてください。
(複数選択可)

	回答数(人)	構成比(%)
全体	13,071	100.0%
大学	6,901	52.8%
短期大学	588	4.5%
専門職大学	256	2.0%
専門職短期大学	92	0.7%
専門学校	4,382	33.5%
就職	2,952	22.6%
その他	261	2.0%
無回答・無効回答	26	0.2%



*パーセンテージは小数点以下第二位を四捨五入し記載

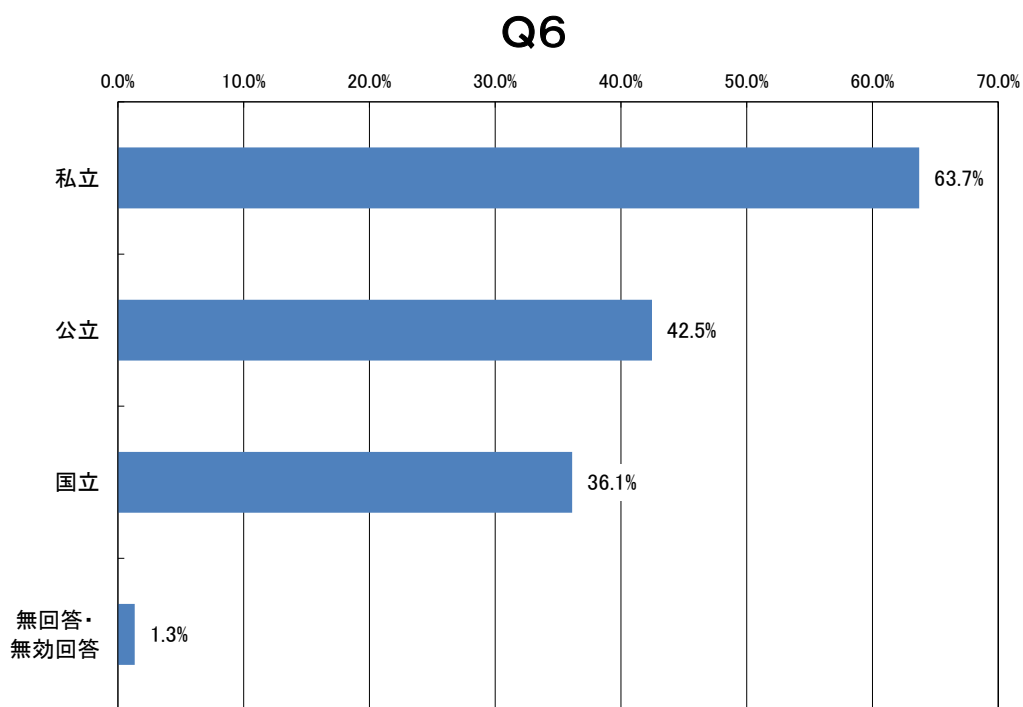
* 集計注) Web アンケート Q5-A は、Q5 でアンケートを終了する回答者が Q6 へ進まないための分岐選択のため、集計を割愛。

Q6) 進学志望校の設置者 * 複数選択可

回答者の進学志望校の設置者は、「私立」4,681 人(63.7%)が最も多く、「公立」3,120 人(42.5%)、「国立」2,654 人(36.1%)と続いている。

Q6) あなたが志望する大学等の設置者の希望を選択し、○をつけてください。(複数選択可)

	回答数(人)	構成比(%)
全体	7,347	100.0%
国立	2,654	36.1%
公立	3,120	42.5%
私立	4,681	63.7%
無回答・無効回答	98	1.3%



*パーセンテージは小数点以下第二位を四捨五入し記載

Q7) 進学希望分野 * 複数選択可

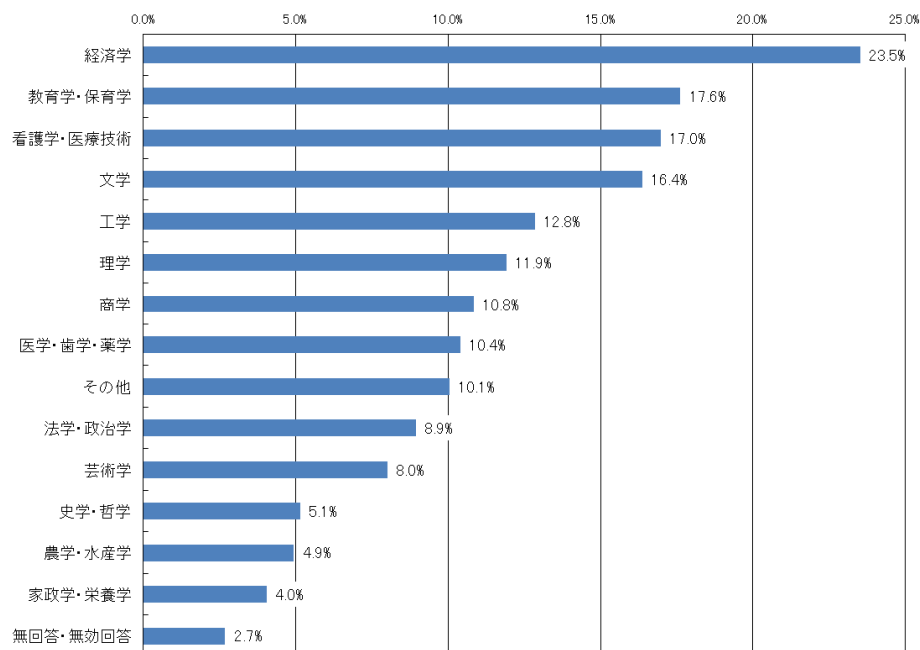
回答者の進学希望分野は、第1位が「経済学」1,729人(23.5%)で、第2位「教育学・保育学」1,295人(17.6%)、第3位「看護学・医療技術」1,247人(17.0%)と続いている。

Q7) あなたが進学先で学びたいと考えている興味のある学問分野に○をつけてください。

(複数選択可)

	回答数(人)	構成比(%)
全体	7,347	100.0%
文学	1,204	16.4%
史学・哲学	378	5.1%
法学・政治学	657	8.9%
経済学	1,729	23.5%
商学	797	10.8%
教育学・保育学	1,295	17.6%
工学	944	12.8%
理学	875	11.9%
農学・水産学	363	4.9%
医学・歯学・薬学	765	10.4%
看護学・医療技術	1,247	17.0%
家政学・栄養学	297	4.0%
芸術学	588	8.0%
その他	739	10.1%
無回答・無効回答	197	2.7%

Q7



*パーセンテージは小数点以下第二位を四捨五入し記載

Q8) 進学先決定時の重視要因 *複数選択可

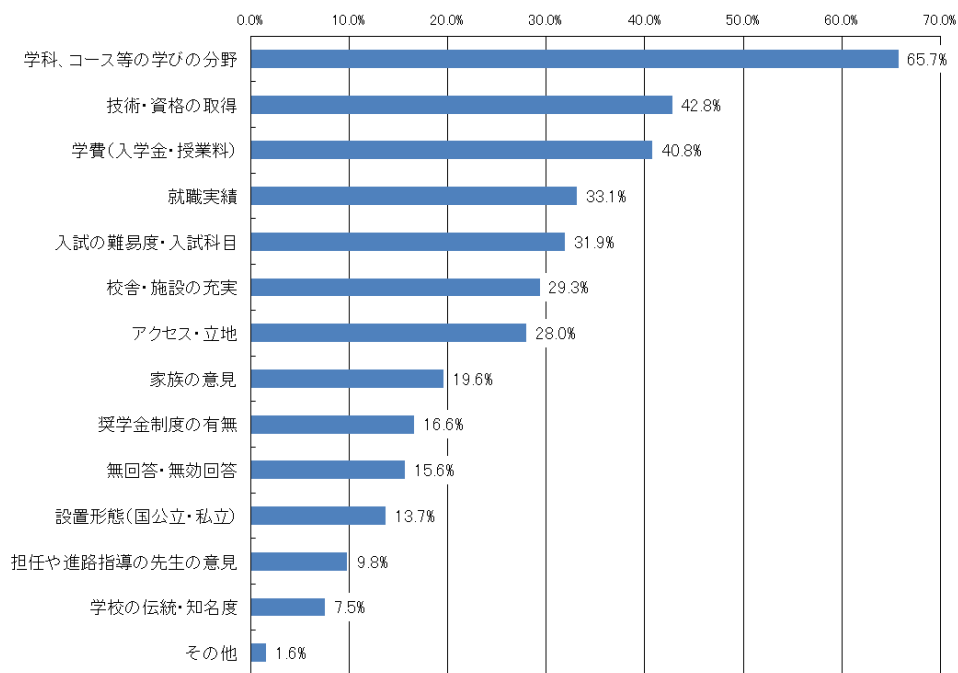
回答者の進学先決定時の重視要因は、「学科、コース等の学びの分野」4,829 人(65.7%)がもっとも多く、次いで「技術・資格の取得」3,143 人(42.8%)、「学費(入学金・授業料)」2,996 人(40.8%)となっている。

Q8) あなたは進学先を決定する際に、どのような点を重視しますか。

該当するものを選択し、○をつけてください。(複数選択可)

	回答数(人)	構成比(%)
全体	7,347	100.0%
学科、コース等の学びの分野	4,829	65.7%
技術・資格の取得	3,143	42.8%
就職実績	2,434	33.1%
校舎・施設の充実	2,155	29.3%
設置形態(国公立・私立)	1,006	13.7%
学費(入学金・授業料)	2,996	40.8%
奨学金制度の有無	1,220	16.6%
学校の伝統・知名度	551	7.5%
入試の難易度・入試科目	2,345	31.9%
担任や進路指導の先生の見解	722	9.8%
家族の見解	1,437	19.6%
アクセス・立地	2,055	28.0%
その他	116	1.6%
無回答・無効回答	1,149	15.6%

Q8



*パーセンテージは小数点以下第二位を四捨五入し記載

Q9) 北海道情報大学 総合情報学部 情報理工学科(仮称)の受験意向

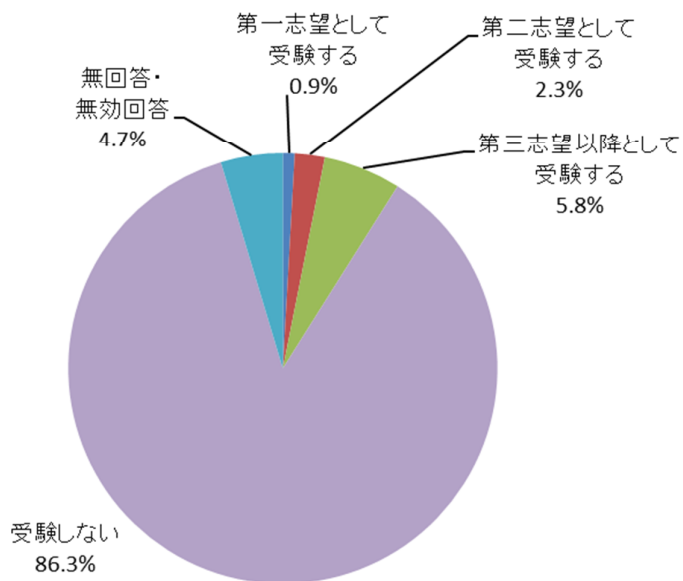
回答者の北海道情報大学 総合情報学部 情報理工学科(仮称)の受験意向は、「第一志望として受験する」65人(0.9%)、「第二志望として受験する」166人(2.3%)、「第三志望以降として受験する」429人(5.8%)で、何らかの受験意向を持った人の合計は660人(9.0%)となった。

一方、「受験しない」は6,344人(86.3%)、「無回答・無効回答」は343人(4.7%)となっている。

**Q9) 北海道情報大学 総合情報学部 情報理工学科(仮称)が開設された場合、
あなたは受験を希望しますか。(1つ選択)**

	回答数(人)	構成比(%)
全体	7,347	100.0%
第一志望として受験する	65	0.9%
第二志望として受験する	166	2.3%
第三志望以降として受験する	429	5.8%
受験しない	6,344	86.3%
無回答・無効回答	343	4.7%

Q9



*パーセンテージは小数点以下第二位を四捨五入し記載

Q10) 北海道情報大学 総合情報学部 情報理工学科(仮称)への進学意向

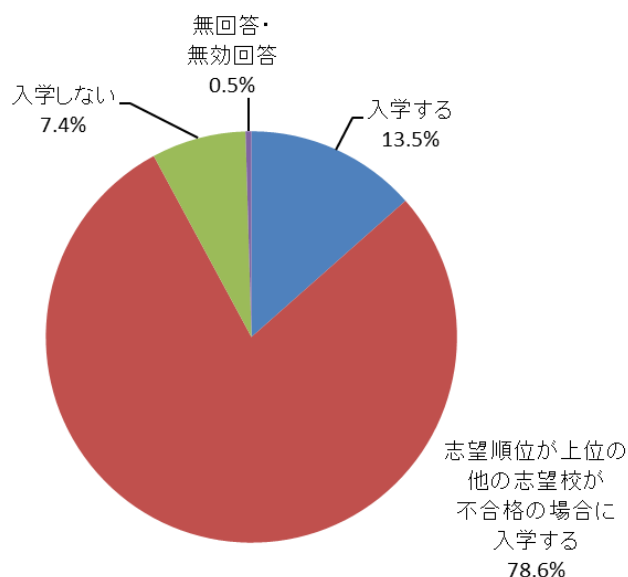
回答者の北海道情報大学 総合情報学部 情報理工学科(仮称)への進学意向は、「入学する」が 89 人(13.5%)、「志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する」が 519 人(78.6%)で、何らかの進学の意向を持つこれらの回答者の合計は 608 人(92.1%)となっており、「入学する」のみで入学定員(80 人)の 1.1 倍、「志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する」を含めると入学定員(80 人)の 7.6 倍となっている。

一方、「入学しない」は 49 人(7.4%)、「無回答・無効回答」は 3 人(0.5%)となっている。

Q10) 北海道情報大学 総合情報学部 情報理工学科(仮称)を受験して合格した場合、 あなたは入学を希望しますか。(1 つ選択)

	回答数(人)	構成比(%)
全体	660	100.0%
入学する	89	13.5%
志望順位が上位の他の志望校が 不合格の場合に入学する	519	78.6%
入学しない	49	7.4%
無回答・無効回答	3	0.5%

Q10



*パーセンテージは小数点以下第二位を四捨五入し記載

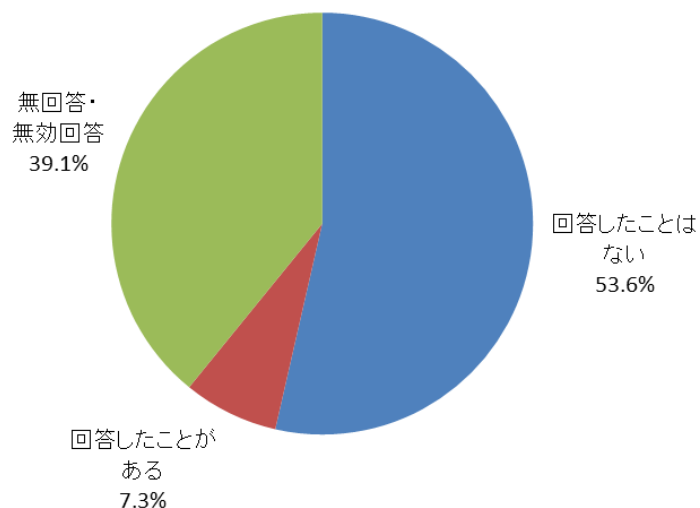
Q11) 北海道情報大学 総合情報学部 情報理工学科(仮称)アンケートへの過去回答の有無

回答者の北海道情報大学 総合情報学部 情報理工学科(仮称)アンケートへの過去回答の有無は、「回答したことはない」が7,554人(53.6%)、「回答したことがある」が1,029人(7.3%)、「無回答・無効回答」が5,517人(39.1%)となっている。

Q11) あなたは2025年7月から現在までに北海道情報大学 総合情報学部 情報理工学科(仮称)に関する同じ内容のアンケート調査に回答したことがありますか。(1つ選択)

	回答数(人)	構成比(%)
全体	14,100	100.0%
回答したことはない	7,554	53.6%
回答したことがある	1,029	7.3%
無回答・無効回答	5,517	39.1%

Q11



*パーセンテージは小数点以下第二位を四捨五入し記載

Q12) 北海道情報大学 総合情報学部 情報理工学科(仮称)設置計画への意見・要望

Q12) 北海道情報大学 総合情報学部 情報理工学科(仮称)設置計画への
ご意見、ご要望をお聞かせください。

Q12
AIを使用することが多くなってきている今では、AIをより理解することで今の社会の戦力になると思うので良い学科だと思います。
AI等の高度な技術を深く理解するという、現代に必要な事であるので 設置を行ってもいいと思います。
これからICTが必要になってくると思うので、時代に合った大学、学科だと思った。
これからの時代に適した学科だと思います。
これからの社会にぴったりの学部だと思う。
これからは情報の知識がさらに必要となってくるので、地域に近い方にはとてもいい学科が設置される、と思います。
これから情報系が世の中の中心になっていくからいいと思います
現在日本では情報技術が求められていると感じるため、設置されると入学を希望する高校生が増えて、大学として盛り上がりとなると考えた。
現代に合っていていいと思う。
現代社会において重要な、情報を知ることを専門的に学べるのは良いと思う。
現代社会に必要な学科だと思います。
情報社会である昨今において情報の革新者を育成することは受講者及び社会においても役立ち、設置する価値のあるものだと考えます。
情報分野は、今後ますます発展していくと思う
世の中の需要が変わっていく中で、ニーズにこたえられる人材を育成できる良い学科だと思う。
カリキュラムに変化をくわえるのはおもしろいと思いました。研究活動へのサポートも良いものだと思います。
どのような事を学ぶのか、具体的に知りたいです。
どのような大学なのか、まだ情報がないので発信してほしいです。
パソコン多いのにたいして先生の量はいるのかなと思った。
学生へのサポートがしっかりしていて良いなと思いました
学部での学び方、特にカリキュラムや経験豊富な教員がサポートしてくれる面で、入学後のイメージを持ちやすかったです。
工学もグローバルなことも学べてよいと思いました。
最先端分野を学べるのはとてもいいと思った
情報学を中心に環境や生命を横断的に学べるのは面白そうだと思う！
情報系を学びながら、起業家精神を育むという点が興味深い
心と体の健康をデジタルで支えるというのには興味があります。
読ませていただいて最先端分野の研究に興味を持ちました。IT関連の勉強を学びに行きたいと思いました。今のところは遠いので志望校には厳しそうですが魅力的な大学です。
入ったらどんな学びができるのかを知りたいです。
入試科目を知りたいです 文系でも受験できるのかなど
1年生の時にICT基礎や資格取得できるのは良いと思った
資格がたくさん取れて良い。
カリキュラムイメージが、一般的な大学とかなり違って資格取得があるのが、いいと思った。
とても魅力的でひかれました。なぜなら、工学も情報もどちらも興味があり大学の学科選びに迷っていたからです。国家資格も色々取得出来るのが良いと思います。
どんな資格がとれるのか
国家資格に一年次から取り組めるのは良いと思った。
資格たくさんとれて良いと思った。
取得可能な資格が多くて、とても幅広い分野をまなべることがわかり興味がわきました
色々な資格が取得可能なため、この学科を設置するのは良いと思う。
IT系の職へのサポートをより手厚く受けられそうで良いと思った。
どのような就職先があるのかを知りたいです。
どんな就職先があるのかを知りたいです。
具体的な就職先を知りたい
就職した時にとても役に立ちそうだと思います。
就職に関わることを知りたい
かなり最先端な教育制度だと思い、正直第1希望と大差無いぐらい良いと思った。
ぜひ設置を実現して欲しい
どの様な教科があるのかはまだ知らないのですがそれだけで入学きぼうするかもしれません
もう一年早く開設してほしかったです。
学費によっては視野に入れるかもしれません。
志望校は決まっていますが、興味があります。
情報デザイン行きたいです。
情報学に興味があり、これからの時代において大切な学問だと思います
情報系を一応目指しているのになんか気になる
北海道で技術者が育ち、その土地で働き続ける土壌が育まれることにより、地方活性化が進むと良いと思います。学校の進路状況や偏差値がわからない以上、新設校を第一希望にするのはリスクがあるかと思いますが、ご縁がありましたらよろしく願います。
通信部もください。

4. 進学需要分析

回答総数 14,100 人のうち、「Q11) 北海道情報大学 総合情報学部 情報理工学科(仮称)アンケートへの過去回答の有無」で「回答したことはない」と回答した人は 7,554 人で、うち 7,449 人が「Q2) 学年」で「高校 2 年生」を選択している。

このうち、5,965 人が「Q5) 高校卒業後の進路」として「大学」を選択しており、そのうち 3,804 人は「Q6) 進学志望校の設置者」として「私立」を選択している。さらにそのうちの 375 人が、「Q7) 進学希望分野」として当該新学科の専門分野に関連する「工学」を選択している。

項目	人数
回答総数	14,100
Q11) ①回答したことはない	7,554
Q2) ②高校2年生	7,449
Q5) ①大学	5,965
Q6) ①私立	3,804
Q7) ⑦工学	375

上記、進学希望分野の合致している回答層 375 人のうち、「Q9) 北海道情報大学 総合情報学部 情報理工学科(仮称)の受験意向」で「第一志望として受験する」を選択し、かつ、「Q10) 北海道情報大学 総合情報学部 情報理工学科(仮称)への進学意向」で「入学する」を選択した人数は 16 人となっている。

Q9) 第一志望として受験する	人数
Q10) 入学する	16
Q10) 志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する	2
Q10) 入学しない	1
Q10) 無回答・無効回答	0
計	19

(次ページへ続く→)

また、進学希望分野の合致している回答層 375 人のうち、「Q9) 北海道情報大学 総合情報学部 情報理工学科(仮称)の受験意向」で「第二志望として受験する」を選択し、かつ、「Q10) 北海道情報大学 総合情報学部 情報理工学科(仮称)への進学意向」で「志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する」を選択した人数は 30 人、「Q9) 北海道情報大学 総合情報学部 情報理工学科(仮称)の受験意向」で「第三志望以降として受験する」を選択し、かつ、「Q10) 北海道情報大学 総合情報学部 情報理工学科(仮称)への進学意向」で「志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する」を選択した人数は 79 人となっている。

Q9) 第二志望として受験する	人数
Q10) 入学する	5
Q10) 志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する	30
Q10) 入学しない	0
Q10) 無回答・無効回答	1
計	36

Q9) 第三志望以降として受験する	人数
Q10) 入学する	2
Q10) 志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する	79
Q10) 入学しない	2
Q10) 無回答・無効回答	0
計	83

北海道情報大学 総合情報学部 情報理工学科(仮称)への進学需要は、第一志望のみで入学定員 80 人の 0.2 倍、第二志望を含めると入学定員 80 人の 0.6 倍、第三志望以降まで含めると入学定員 80 人の 1.6 倍となる。

また、「Q7) 進学希望分野」として「その他」を選択し自由記述回答欄にて” 情報” を含む回答をしている層も、当該新学科への進学層となる可能性があると考えられるため、当該新学科の教育・研究内容を広く周知することにより、進学層の拡大が見込まれる。

項目	人数
回答総数	14,100
Q11) ①回答したことはない	7,554
Q2) ②高校2年生	7,449
Q5) ①大学	5,965
Q6) ①私立	3,804
Q7) ⑭その他(自由記述で“情報”含む回答)	41

(次ページへ続く→)

Q9) 第一志望として受験する	人数
Q10) 入学する	2
Q10) 志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する	0
Q10) 入学しない	0
Q10) 無回答・無効回答	0
計	2

Q9) 第二志望として受験する	人数
Q10) 入学する	3
Q10) 志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する	1
Q10) 入学しない	0
Q10) 無回答・無効回答	0
計	4

Q9) 第三志望以降として受験する	人数
Q10) 入学する	1
Q10) 志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する	6
Q10) 入学しない	0
Q10) 無回答・無効回答	0
計	7

さらに、「Q7) 進学希望分野」として「その他」を選択し自由記述回答欄にて「未定」「まだ決まっていない」と回答している層も一定数いることから、当該層に対しても総合情報学部情報理工学科(仮称)における教育研究内容をより丁寧に説明することにより、当該学科への進学層を拡大することが可能であると考ええる。

5. 補記

アンケート説明文 1/4



学びに変革を。
社会に革新を。

2027年4月 開設予定
総合情報学部
情報理工学科 (仮称・設置構想中)
Department of Information Science and Technology

 北海道情報大学

社会課題解決に特化した実践型カリキュラム

社会が「DX」の推進を求めると同時に、あらゆる業界でIT人材の需要が急増しています。現代社会が抱える多様な課題に対して、高度な情報通信技術（ICT）がもたらす変革「DX」を基盤とした独自のカリキュラムが展開されます。地球温暖化から、みんなの健康まで。社会のさまざまな課題に、仲間や教員とともにICTの力で立ち向かいましょう。



未来で輝くための「パスポート」を、その手に。

国家資格（基本情報技術者）の取得も1年次に挑戦。その資格は、その後の学修とあなたが社会で活躍するための強力な武器になります。卒業後のキャリアに直結する、より専門性の高い情報処理系の国家資格取得も強力に支援していきます。



資格取得の過程でICTの基礎を確実に身に付け、その後の発展的な学びにつなげていきます。

取得可能な資格

- 基本情報技術者試験
- 応用情報技術者試験
- ITストラテジスト試験
- システムアーキテクト試験
- プロジェクトマネージャ試験
- ネットワークスペシャリスト試験
- データベーススペシャリスト試験
- エンベデッドシステムスペシャリスト試験
- ITサービスマネージャ試験
- システム監査技術者試験
- 情報処理安全確保支援士試験
- GIS学術士

多くの専門分野をカバーする現場経験豊富な教員陣との学び

情報科学、数理・データサイエンス、AIなどの基盤となる科目を1年次から集中して学び、高度な専門知識を学ぶための強固な土台を築きます。豊富な実習や演習に加え、3年次から所属する研究室では、最先端かつ多様な研究分野を深く掘り下げ、社会や現場のリアルに触れて自ら問題を発見し、ICTを活用して解決するスキルを実践的に身につけます。

「やってみたい！」が、そのまま学びに変わる。

1研究室に教員を複数人配置し、多様な学生に対応できる体制を構築
興味・関心に合わせて自由な研究活動をサポート

【ジオインフォマティクス研究室】

空間情報を解析し、
社会の課題を解決する

【環境情報・シミュレーション研究室】

センサーで集めてAIで読み解く

【画像AI研究室】

AIの目で社会の課題を解決する

【デジタルヘルス研究室】

心と体の健康をデジタルで支える

【バイオエンジニアリング研究室】

生体情報を解析し、
健康、生活、環境を改善する

ICTの適切な利用と倫理観の涵養

あなたこそ、未来を創る「情報イノベーター（革新者）」です。

北海道情報大学ならではのアントレプレナーシップセンターでの活動や国際情報プログラムでの学び（任意）は、あなたの社会での活躍の場をさらに広がります。情報、環境、医療、ビジネス・・・あらゆる分野で新しい時代を切り拓くのは、あなたです！

アントレプレナーシップセンター

起業家精神の育成

国際情報プログラム

グローバル視点の育成

情報理工学科での学び

高度情報社会に貢献できる情報イノベーターへ



豊富な実習授業は充実のICT環境で行います。
入学者全員に1人1台無償でノートPCも貸与されます。

卒業後の進路

- IT企業
- IT・テクノロジー関連職
- 公共政策・社会系分野のコンサルタント
- 一般企業のデジタル戦略担当
- 情報システム担当
- DX・GX・HX担当
- 起業家
- 進学（大学院修士課程）など

アンケート説明文 4/4

総合情報学部 情報理工学科

学位：学士（総合情報学）／入学定員：80名

養成する人材像

情報理工学科は、情報科学、数理・データサイエンス、AIの高度な技術を深く理解し、DXを強力に推進できる人材を育成します。また、GXやHXの実践を通してデータ分析力を駆使し、社会課題を解決して新たな価値を創造する応用力を養います。さらに、国際社会と協調しながら革新的な技術やビジネスモデルを開発・社会実装できる起業家精神を育み、高度情報社会における倫理観と責任感を持ち、情報技術を通して社会に貢献する意識と行動力を備えた人材を養成します。

設置の理念

情報化社会が急速な変革を遂げ、デジタル・トランスフォーメーション(DX)が不可逆な潮流となる中、地球環境との調和(グリーン・トランスフォーメーション:GX)や人々の健康増進(ヘルスケア・トランスフォーメーション:HX)といった、人類が直面する喫緊かつ根源的な課題への対応が求められています。情報理工学科は、情報科学、工学、そして経済学の知見を持ち、これらの社会課題に対し、単なる技術適用に留まらない、真に革新的な解決策を生み出す「情報イノベーター(情報の革新者)」を育成します。これにより、持続可能な社会の実現と、社会全体のウェルビーイングの最大化に寄与することを目指します。

アドミッションポリシー／情報理工学科 入学者受入れの方針

卒業認定・学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)で定めている育成すべき人材像を実現するため及び教育課程編成・実施の方針(カリキュラム・ポリシー)に定める教育を受けるために、高等学校等での学びや諸活動、資格・検定試験等で得た基礎学力、基礎知識、語学力、読解力、論理的思考力及び主体的に学ぶ意欲等を身に付け、本学の情報理工学科に興味・関心を持った人を求めています。

また、本学入学後の学びや諸活動を通して、次のような能力を身に付けられる学生を求めています。

- 学ぶ意義を理解できる人
- グループで議論や活動ができる人
- 情報科学、数理・データサイエンス・AIなどの分野に興味を持ち、社会の各分野で貢献できる人
- 社会課題に対する関心を持ち、持続可能な社会の実現に貢献したいという意欲を持っている人
- 論理的思考力、コミュニケーション能力、協調性を持ち、主体的に学習に取り組むことができる人
- 多様な価値観を尊重し、グローバルな視点を持って行動できる人

学生納付金について

総合情報学部 情報理工学科 初年度学生納付金

(納付金は2027年度予定の金額です)

大学名	学部・学科名	入学定員	収容定員	年 限	初年度納付金
北海道情報大学	総合情報学部 情報理工学科	80 名	320 名	4 年	1,320,000 円

競合する近隣同分野の初年度学生納付金

(他大学の納付金は各大学のウェブサイト掲載情報に基づきます)

大学名	学部・学科・専攻名	入学定員	収容定員	年 限	初年度納付金
北海道科学大学	情報科学部 情報科学科	100 名	400 名	4 年	1,600,000 円
北海学園大学	工学部 電子情報工学科	70 名	280 名	4 年	1,590,000 円

所在地・アクセス方法



●札幌から From Sapporo

JR利用の場合

JR[札幌]駅よりJR[野幌]駅(23分)下車 ジェイ・アール北海道バスで「情報大学前」(5分)下車
JR[札幌]駅 23分程度 JR[野幌]駅 5分程度 ジェイ・アール北海道バス「情報大学前」

高速バス利用の場合

JR[札幌]駅周辺都市間高速バスのりばより高速バス停留所「野幌」(25分)下車 徒歩(3分)
札幌駅前 25分程度 高速バス「野幌」 徒歩3分程度 北海道情報大学

●新千歳空港から From Shin-Chitose Airport

JR[新千歳空港]駅よりJR[新札幌]駅(26分)下車 ジェイ・アール北海道バス「情報大学前」行き、又は「野幌運動公園」行き乗車「情報大学前」(25分)下車
JR[新千歳空港]駅 26分程度 JR[新札幌]駅 25分程度 ジェイ・アール北海道バス「情報大学前」

お問い合わせ

北海道情報大学
Hokkaido Information University

〒069-8585 北海道江別市西野幌59番2
59-2 Nishi-Noppo, Ebetsu, Hokkaido, 069-8585

TEL(011)385-4411(代表)

FAX(011)384-0134



<https://www.do-johodai.ac.jp/>

アンケート調査票(印刷)1/2

北海道情報大学 総合情報学部 情報理工学科(仮称)設置に係る高校生進学意向調査

北海道情報大学では、新たに総合情報学部 情報理工学科(仮称)を設置することを検討しています。設置計画検討の参考として、皆さんの率直なご意見をお聞かせください。

質問 1 あなたの性別はどちらですか。該当するものに○をつけてください。(1つ選択)

- 1 男性 2 女性 3 無回答

質問2 あなたの学年について、該当するものに○をつけてください。(1つ選択)

- 1 高校3年生 2 高校2年生 3 高校1年生
4 その他

質問3 あなたの高校名をご記入ください。

質問4 あなたのお住まいはどちらですか。該当するものに○をつけてください。(1つ選択)

- | | | |
|---------|--------------------|---------|
| 1 石狩・空知 | 2 上川・宗谷・留萌 | 3 檜山・渡島 |
| 4 胆振・日高 | 5 釧路・根室 | 6 十勝 |
| 7 北見・網走 | 8 北海道以外（
）都・府・県 | |

質問5 あなたは高校卒業後どのような進路をお考えですか。該当するものに○をつけてください。

(複數選択可)

- | | | |
|-----------|--------|---------|
| 1 大学 | 2 短期大学 | 3 専門職大学 |
| 4 専門職短期大学 | 5 専門学校 | 6 就職 |
| 7 その他 () | | |

質問 5 で 1~4 を選択した方は質問 6 へお進みください。
※質問 5 で 5~7 のみを選択した方への質問はこれで終了です。

質問 6 あなたが志望する大学等の設置者の希望を選択し、○をつけてください。(複数選択可)

- 1 国立 2 公立 3 私立

質問 7 あなたが進学先で学びたいと考えている興味のある学問分野に○をつけてください。

(複数選択可)

- | | | |
|-------------|-------------|------------|
| 1 文学 | 2 史学・哲学 | 3 法学・政治学 |
| 4 経済学 | 5 商学 | 6 教育学・保育学 |
| 7 工学 | 8 理学 | 9 農学・水産学 |
| 10 医学・歯学・薬学 | 11 看護学・医療技術 | 12 家政学・栄養学 |
| 13 芸術学 | 14 その他 () | |

⇒裏面へお進みください

アンケート調査票(印刷)2/2

質問 8 あなたは進学先を決定する際に、どのような点を重視しますか。該当するものを選択し、○をつけてください。(複数選択可)

- | | | |
|------------------|----------------|---------------|
| 1 学科、コース等の学びの分野 | 2 技術・資格の取得 | 3 就職実績 |
| 4 校舎・施設の充実 | 5 設置形態(国公立・私立) | 6 学費(入学金・授業料) |
| 7 奨学金制度の有無 | 8 学校の伝統・知名度 | 9 入試の難易度・入試科目 |
| 10 担任や進路指導の先生の意見 | 11 家族の意見 | 12 アクセス・立地 |
| 13 その他() | | |

質問 9～12 は、別紙の概要パンフレットをご覧くださいながらお答えください。

質問 9 北海道情報大学 総合情報学部 情報理工学科(仮称)が開設された場合、あなたは受験を希望しますか。

(1つ選択)

- | | |
|-----------------|---------------|
| 1 第一志望として受験する | 2 第二志望として受験する |
| 3 第三志望以降として受験する | 4 受験しない |

質問 10 (質問 9 で 1～3 を選択した方のみお答えください)

北海道情報大学 総合情報学部 情報理工学科(仮称)を受験して合格した場合、あなたは入学を希望しますか。(1つ選択)

- | | | |
|--------|-----------------------------|---------|
| 1 入学する | 2 志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する | 3 入学しない |
|--------|-----------------------------|---------|

質問 11 あなたは 2025 年 7 月から現在までに北海道情報大学 総合情報学部 情報理工学科(仮称)に関する同じ内容のアンケート調査に回答したことがありますか。(1つ選択)

- | | |
|-------------|-------------|
| 1 回答したことはない | 2 回答したことがある |
|-------------|-------------|

質問 12 北海道情報大学 総合情報学部 情報理工学科(仮称)設置計画へのご意見、ご要望をお聞かせください。

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。

北海道情報大学 入試広報室広報課

* 調査票(印刷)では、質問 4 の居住地域に「後志」の選択肢がないため、調査実施に該当する場合は、「8. 北海道以外()」の自由回答欄で「後志」と記載の旨、連絡のうえ、調査を実施した。

北海道情報大学 総合情報学部 情報理工学科（仮称）設置に係る高校生進学意向調査

北海道情報大学では、新たに総合情報学部 情報理工学科(仮称)を設置することを検討しています。設置計画検討の参考として、皆さんの率直なご意見をお聞かせください。

今回送付しました「総合情報学部 情報理工学科」のリーフレットをご覧ください、以下のアンケートに回答をお願いいたします。

* 必須の質問です

入力データに関する注意事項 *

本アンケートは、北海道情報大学が実施しています。

入力いただいたデータ（著作権法27条および28条の権利を含む）は北海道情報大学にて管理し、新学科の設置計画を検討する際の参考データとして使用させていただきます。

また、回答者は、著作者人格権を行使しないものとします。

入力いただいたデータの利用に関して同意いただける方は以下を選択の上、次にお進みください。

☐ 同意する

質問1 あなたの性別について、該当するものを選択してください。 *

- ☐ 1 男性
- ☐ 2 女性
- ☐ 3 無回答

アンケート調査票(web) 2/6

質問2 あなたの学年について、該当するものを選択してください。*

- ☐ 1 高校3年生
- ☐ 2 高校2年生
- ☐ 3 高校1年生
- ☐ その他: _____

質問3 あなたの高校名をご入力ください。*

回答を入力 _____

質問4 あなたのお住まいについて、該当するものを選択してください。*

- ☐ 1 石狩・空知
- ☐ 2 上川・宗谷・留萌
- ☐ 3 檜山・渡島
- ☐ 4 胆振・日高
- ☐ 5 釧路・根室
- ☐ 6 十勝
- ☐ 7 北見・網走
- ☐ 8 後志
- ☐ その他: _____

アンケート調査票(web)3/6

質問5 あなたは高校卒業後どのような進路をお考えですか。(複数選択可) *

- ☐ 1 大学
- ☐ 2 短期大学
- ☐ 3 専門職大学
- ☐ 4 専門職短期大学
- ☐ 5 専門学校
- ☐ 6 就職
- ☐ その他: _____

質問5-A 質問5の回答は以下のどちらですか *

- ☐ 「大学」「短期大学」「専門職大学」「専門職短期大学」のいずれかを含む
- ☐ 「大学」「短期大学」「専門職大学」「専門職短期大学」のいずれかを含まない

質問5で「大学」「短期大学」「専門職大学」「専門職短期大学」のいずれかを選択した方に質問します

質問6 あなたが志望する大学等の設置者の希望を選択してください。(複数選択可) *

- ☐ 1 国立
- ☐ 2 公立
- ☐ 3 私立

アンケート調査票(web) 4/6

質問7 あなたが進学先で学びたいと考えている興味のある学問分野を選択してください。(複数選択可)

- ☐ 1 文学
- ☐ 2 史学・哲学
- ☐ 3 法学・政治学
- ☐ 4 経済学
- ☐ 5 商学
- ☐ 6 教育学・保育学
- ☐ 7 工学
- ☐ 8 理学
- ☐ 9 農学・水産学
- ☐ 10 医学・歯学・薬学
- ☐ 11 看護学・医療技術
- ☐ 12 家政学・栄養学
- ☐ 13 芸術学
- ☐ その他: _____

アンケート調査票(web)5/6

質問8 あなたは進学先を決定する際に、どのような点を重視しますか。該当するものを選択してください。(複数選択可)

- ☐ 1 学科、コース等の学びの分野
- ☐ 2 技術・資格の取得
- ☐ 3 就職実績
- ☐ 4 校舎・施設の充実
- ☐ 5 設置形態(国公立・私立)
- ☐ 6 学費(入学金・授業料)
- ☐ 7 奨学金制度の有無
- ☐ 8 学校の伝統・知名度
- ☐ 9 入試の難易度・入試科目
- ☐ 10 担任や進路指導の先生の意見
- ☐ 11 家族の意見
- ☐ 12 アクセス・立地
- ☐ その他: _____

質問9～12は「総合情報学部 情報理工学科」のリーフレットをご覧くださいながらお答えください。

質問9 **北海道情報大学 総合情報学部 情報理工学科(仮称)**が開設された場合、あなたは受験を希望しますか。 *

- ☐ 1 第一志望として受験する
- ☐ 2 第二志望として受験する
- ☐ 3 第三志望以降として受験する
- ☐ 4 受験しない

アンケート調査票(web) 6/6

質問10 北海道情報大学 総合情報学部 情報理工学科(仮称)を受験して合格した場合、あなたは入学を希望しますか。 *

- ☐ 1 入学する
- ☐ 2 志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に
- ☐ 3 入学しない

質問11 あなたは2025年7月から現在までに北海道情報大学 総合情報学部 情報理工学科(仮称)に関する同じ内容のアンケート調査に回答したことがありますか。 *

- ☐ 1 回答したことはない
- ☐ 2 回答したことがある

質問12 北海道情報大学 総合情報学部 情報理工学科(仮称)設置計画へのご意見、ご要望をお聞かせください。

回答を入力

調査対象高校一覧 1/1

No	高校名	所在地 (都道府県)	No	高校名	所在地 (都道府県)	No	高校名	所在地 (都道府県)
1	札幌真栄高等学校	北海道	51	北海道厚岸翔洋高等学校	北海道	101	北海道岩見沢緑陵高等学校	北海道
2	札幌平岡高等学校	北海道	52	北海道白糠高等学校	北海道	102	北海道美瑛尚栄高等学校	北海道
3	北広島高等学校	北海道	53	北海道標茶高等学校	北海道	103	北海道滝川高等学校	北海道
4	北広島西高等学校	北海道	54	北海道根室高等学校	北海道	104	北海道深川西高等学校	北海道
5	千歳高等学校	北海道	55	北海道標津高等学校	北海道	105	北海道滝川西高等学校	北海道
6	千歳北陽高等学校	北海道	56	北海道羅臼高等学校	北海道	106	クラーク記念国際高等学校 本校・深川キャンパス	北海道
7	恵庭南高等学校	北海道	57	北海道札幌手稲高等学校	北海道	107	クラーク記念国際高等学校 旭川キャンパス	北海道
8	恵庭北高等学校	北海道	58	北海道札幌あすかぜ高等学校	北海道	108	北海学園札幌高等学校	北海道
9	札幌第一高等学校	北海道	59	旭川北高等学校	北海道	109	北海道江別高等学校	北海道
10	北海道文教大学附属高等学校	北海道	60	旭川工業高等学校	北海道	110	北海道札幌東商業高等学校	北海道
11	小樽潮陵高等学校	北海道	61	旭川商業高等学校	北海道	111	クラーク記念国際高等学校 札幌大通キャンパス	北海道
12	小樽桜陽高等学校	北海道	62	富良野高等学校	北海道	112	クラーク記念高等学校 札幌白石キャンパス	北海道
13	小樽未来創造高等学校	北海道	63	上川高等学校	北海道	113	酪農学園大学附属 とわの森三愛高等学校	北海道
14	小樽水産高等学校	北海道	64	上富良野高等学校	北海道	114	藤女子	北海道
15	倶知安高等学校	北海道	65	旭川南高等学校	北海道	115	札幌北斗高等学校	北海道
16	倶知安農業高等学校	北海道	66	東川高等学校	北海道	116	有朋高等学校	北海道
17	余市紅志高等学校	北海道	67	旭川永徳高等学校	北海道	117	札幌丘珠高等学校	北海道
18	岩内高等学校	北海道	68	旭川龍谷高等学校	北海道	118	稚内大谷高等学校	北海道
19	蘭越高等学校	北海道	69	旭川志峯高等学校	北海道	119	利尻高等学校	北海道
20	寿都高等学校	北海道	70	旭川明成高等学校	北海道	120	紋別高等学校	北海道
21	二セコ高等学校	北海道	71	室蘭清水丘高等学校	北海道	121	湧別高等学校	北海道
22	真狩高等学校	北海道	72	室蘭東翔高等学校	北海道	122	遠軽高等学校	北海道
23	留寿都高等学校	北海道	73	登別青嶺高等学校	北海道	123	佐呂間高等学校	北海道
24	北照高等学校	北海道	74	虻田高等学校	北海道	124	美幌高等学校	北海道
25	小樽双葉高等学校	北海道	75	登別明日高等学校	北海道	125	津別高等学校	北海道
26	小樽明峰高等学校	北海道	76	杜宮高等学校	北海道	126	北見北斗高等学校	北海道
27	北星学園余市高等学校	北海道	77	北海道栄高等学校	北海道	127	北見商業高等学校	北海道
28	函館西高等学校	北海道	78	海星学院高等学校	北海道	128	訓子府高等学校	北海道
29	函館工業高等学校	北海道	79	市立札幌平岸高等学校	北海道	129	北海道別海高等学校	北海道
30	函館商業高等学校	北海道	80	札幌市立藻岩高等学校	北海道	130	北海道弟子屈高等学校	北海道
31	函館水産高等学校	北海道	81	市立札幌啓北商業高等学校	北海道	131	北海道釧路江南高等学校	北海道
32	大野農業高等学校	北海道	82	札幌龍谷学園高等学校	北海道	132	北海道静内高等学校	北海道
33	森高等学校	北海道	83	苫小牧西高等学校	北海道	133	北海道静内農業高等学校	北海道
34	八雲高等学校	北海道	84	北海道帯広三条高等学校	北海道	134	網走南ヶ丘高等学校	北海道
35	長万部高等学校	北海道	85	北海道帯広農業高等学校	北海道	135	北見柏陽高等学校	北海道
36	七飯高等学校	北海道	86	北海道帯広緑陽高等学校	北海道	136	札幌東陵高等学校	北海道
37	市立函館高等学校	北海道	87	北海道池田高等学校	北海道	137	札幌静修高等学校	北海道
38	知内高等学校	北海道	88	北海道足寄高等学校	北海道	138	札幌南陵高等学校	北海道
39	函館大学付属有斗高等学校	北海道	89	北海道芽室高等学校	北海道	139	札幌等似工業高等学校	北海道
40	函館大谷高等学校	北海道	90	北海道音更高等学校	北海道	140	札幌山の手高等学校	北海道
41	函館大学付属柏稜高等学校	北海道	91	北海道上士幌高等学校	北海道	141	北海道科学大学高等学校	北海道
42	江差高等学校	北海道	92	北海道鹿追高等学校	北海道	142	北海道栗山高等学校	北海道
43	樺山北高等学校	北海道	93	北海道大樹高等学校	北海道	143	北海道阿寒高等学校	北海道
44	北海道石狩南高等学校	北海道	94	北海道帯広南商業高等学校	北海道	144	北海道霧多布高等学校	北海道
45	北海道長沼高等学校	北海道	95	北海道幕別清陵高等学校	北海道	145	北海道大空高等学校	北海道
46	北海道追分高等学校	北海道	96	帯広北高等学校	北海道	146	札幌新陽高等学校	北海道
47	北海道浦河高等学校	北海道	97	白樺学園高等学校	北海道	147	藤女子中学校・高等学校	北海道
48	北海道平取高等学校	北海道	98	帯広大谷高等学校	北海道	148	市立札幌新川高等学校	北海道
49	北海道釧路明瞭高等学校	北海道	99	北海道岩見沢東高等学校	北海道			
50	北海道釧路商業高等学校	北海道	100	北海道岩見沢農業高等学校	北海道			

北海道情報大学 新学科設置計画に係るニーズ調査報告書 (事業所編)

2025 年 10 月

丸善雄松堂株式会社
Research & Innovation 本部

 **MARUZEN-YUSHODO**

目次

1. 調査概要	2
2. 調査・分析結果の要旨	3
3. 全体集計結果	6
4. 採用需要分析	22
5. 補記	23

1. 調査概要

(1) 調査目的

北海道情報大学 新学科設置計画検討のため、本アンケート調査により事業所の人材需要等を把握し、設置計画の基礎資料とすることを目的とする。

(2) 調査対象

北海道情報大学 総合情報学部 情報理工学科(仮称)卒業生の就職先として想定される企業・事業所及び既設学部等の卒業生の就職実績等を参考に選定した企業・事業所。

(3) 実施時期

2025 年 9 月 12 日～2025 年 10 月 3 日

(4) 回収状況

本調査では 1,032 事業所を対象にアンケート調査票を配布し、286 件のアンケートを回収することができた。(回収率 27.7%)

(5) 調査方法

調査票による定量調査。(アンケート調査)

(6) 利用調査票

添付アンケート調査票参照。

2. 調査・分析結果の要旨

(1) 調査結果の要旨

①事業所の種別

回答事業所の種別は、「情報通信業」183 事業所 (64.0%) が最も多く 6 割以上で、「卸売業・小売業」32 事業所 (11.2%)、「学術研究・専門・技術サービス業」と「サービス業(他に分類されないもの)」がそれぞれ 12 事業所 (4.2%) と続いている。

②-1 事業所の所在地(北海道／北海道以外)

回答事業所の所在地は、「北海道」が 123 事業所 (43.0%)、「北海道以外」が 163 事業所 (57.0%) となっている。

②-2 事業所の所在地(北海道内)

回答事業所の所在地(北海道)は、「石狩・空知」が 104 事業所 (84.6%) と最も多く 8 割以上となっており、次いで「上川・宗谷・留萌」9 事業所 (7.3%)、「檜山・渡島」「北見・網走」がそれぞれ 3 事業所 (2.4%) となっている。

②-2 事業所の所在地(北海道以外)

回答事業所の所在地は、複数の都道府県を選択している場合を除き、「東京都」が 111 事業所 (68.1%) と最も多く 6 割以上となっており、次いで「神奈川県」19 事業所 (11.7%)、「愛知県」8 事業所 (4.9%) となっている。

③事業所の規模

回答事業所の規模は、「100～499 名」102 事業所 (35.7%) が最も多く、「50～99 名」60 事業所 (21.0%)、「50 名未満」55 事業所 (19.2%) と続いている。

④過去 3 年間の採用職種

回答事業所の過去 3 年間の採用職種は、「情報処理・通信技術者」203 事業所 (71.0%) が最も多く、「事務従事者」73 事業所 (25.5%)、「販売従事者」49 事業所 (17.1%) と続いている。

⑤過去 3 年間の年度別採用人数

回答事業所の過去 3 年間の年度別採用人数は、2023 年度が 264 事業所 12,916 人、2024 年度が 273 事業所 13,640 人、2025 年度が 263 事業所 12,514 人となっている。

2024 年度から 2025 年度にかけて採用人数は減少したものの、毎年 12,000 人以上の採用実績があり、260 以上の事業所が採用を実施しているという状況である。

⑥過去３年間の人材採用充足状況

回答事業所の過去３年間の人材採用充足状況は、「不足している」が 82 事業所 (28.7%)、「やや不足している」が 102 事業所 (35.7%) で、これらの合計は 184 事業所 (64.3%) で 6 割以上の事業所が不足感を持っている。

一方、「ある程度充足している」は 74 事業所 (25.9%)、「充足している」は 28 事業所 (9.8%) で、これらの合計は 102 事業所 (35.7%) となっている。

⑦人材採用時の重視点

回答事業所の人材採用時の重視点は、「コミュニケーション能力」228 事業所 (79.7%) が最も多く、「チームで働く力」118 事業所 (41.3%)、「チャレンジ精神・積極性」73 事業所 (25.5%) と続いている。

⑧北海道情報大学 総合情報学部 情報理工学科(仮称)設置の必要性

北海道情報大学 総合情報学部 情報理工学科(仮称)設置の必要性について、「必要性を感じる」が 173 事業所 (60.5%) と最も多く、次いで「ある程度の必要性を感じる」が 105 事業所 (36.7%) となっており、これらの合計が 278 事業所 (97.2%) と、9 割以上の事業所が新学科設置について何らかの必要性を感じている。

一方、「必要性を感じない」は 8 事業所 (2.8%)、「無回答・無効回答」の事業所はなかった。

⑨-1 北海道情報大学 総合情報学部 情報理工学科(仮称)卒業生の採用意向

北海道情報大学 総合情報学部 情報理工学科(仮称)卒業生の採用意向について、「採用したい」が 188 事業所 (65.7%) と最も多く、次いで「採用を検討したい」が 88 事業所 (30.8%) で、何らかの採用意向を持つこれらの合計が 276 事業所 (96.5%) で 9 割以上となっている。

一方、「採用を希望しない」は 10 事業所 (3.5%) で、無回答・無効回答の事業所はなかった。

⑨-2 北海道情報大学 総合情報学部 情報理工学科(仮称)卒業生の採用意向人数

北海道情報大学 総合情報学部 情報理工学科(仮称)卒業生の採用意向人数は、「採用したい」が 188 事業所 505 人(うち人数未回答: 11 事業所)、「採用を検討したい」が 88 事業所 184 人(うち人数未回答: 10 事業所)で、「採用したい」及び「採用を検討したい」と回答した層の採用希望人数は合計で 689 人となっている。

(2)分析結果の要旨

北海道情報大学 総合情報学部 情報理工学科(仮称)卒業生の採用意向人数は、「採用したい」が188 事業所 505 人(うち人数未回答:11 事業所)、「採用を検討したい」が88 事業所 184 人(うち人数未回答:10 事業所)で、「採用したい」及び「採用を検討したい」と回答した層の採用希望人数は合計で689 人となっている。

実際に採用に至るか否かについては就職希望者個人の人格や能力が大きく影響すると思われるが、ここでは「採用したい」に加えて、「採用を検討したい」までを採用需要として定義する。上記の採用意向で人数が未回答であった事業所の採用意向人数を保守的に1 事業所当たり1 人と仮定した場合、調査結果に基づく北海道情報大学 総合情報学部 情報理工学科(仮称)卒業生の採用需要は「採用したい」のみで516 人、「採用を検討したい」まで含めると710 人で、「採用したい」が北海道情報大学 総合情報学部 情報理工学科(仮称)の入学定員(80 人)の6.5 倍、「採用を検討したい」まで含めると8.9 倍となり、北海道情報大学 総合情報学部 情報理工学科(仮称)卒業生に対する高い採用需要があるといえる。(P.22)

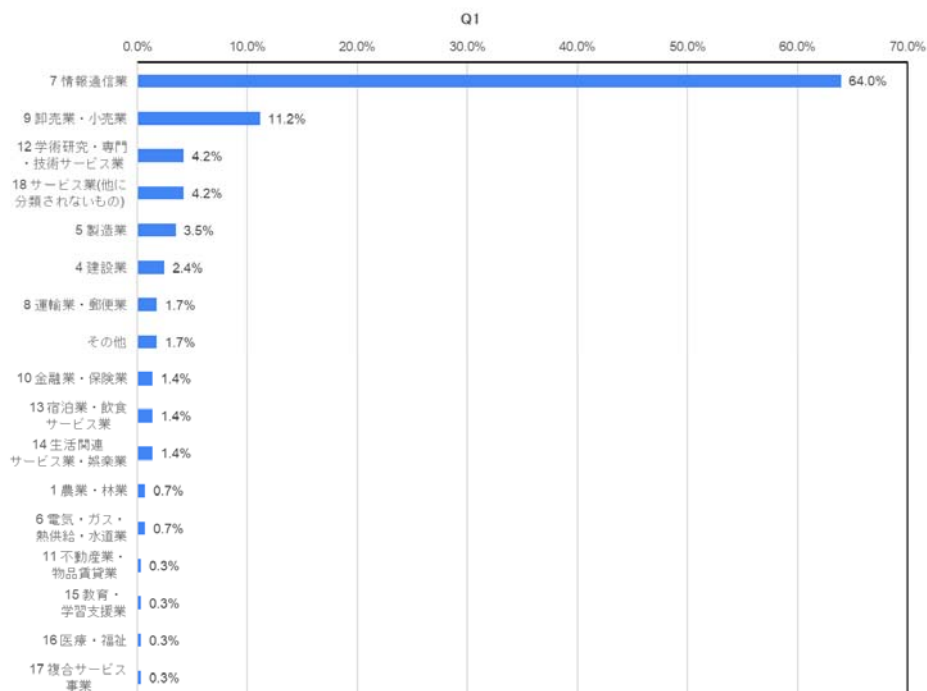
3. 全体集計結果

Q1) 事業所の種別

回答事業所の種別は、「情報通信業」183 事業所 (64.0%) が最も多く 6 割以上で、「卸売業・小売業」32 事業所 (11.2%)、「学術研究・専門・技術サービス業」と「サービス業(他に分類されないもの)」がそれぞれ 12 事業所 (4.2%) と続いている。

Q1) 貴社の主たる種別はどちらですか。該当するものを選択してください。(1 つ選択)

	回答数(事業所)	構成比(%)
全体	286	100.0%
1 農業・林業	2	0.7%
2 漁業	0	0.0%
3 鉱業・採石業・砂利採取業	0	0.0%
4 建設業	7	2.4%
5 製造業	10	3.5%
6 電気・ガス・熱供給・水道業	2	0.7%
7 情報通信業	183	64.0%
8 運輸業・郵便業	5	1.7%
9 卸売業・小売業	32	11.2%
10 金融業・保険業	4	1.4%
11 不動産業・物品賃貸業	1	0.3%
12 学術研究・専門・技術サービス業	12	4.2%
13 宿泊業・飲食サービス業	4	1.4%
14 生活関連サービス業・娯楽業	4	1.4%
15 教育・学習支援業	1	0.3%
16 医療・福祉	1	0.3%
17 複合サービス事業	1	0.3%
18 サービス業(他に分類されないもの)	12	4.2%
19 公務	0	0.0%
その他	5	1.7%
無回答・無効回答	0	0.0%



*パーセンテージは小数点以下第二位を四捨五入し記載

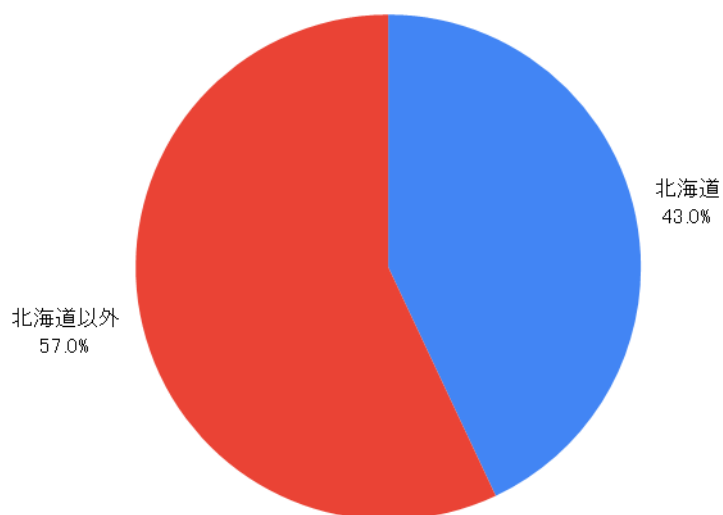
Q2)-1 事業所の所在地(北海道／北海道以外)

回答事業所の所在地は、「北海道」が 123 事業所(43.0%)、「北海道以外」が 163 事業所(57.0%)となっている。

Q2)-1 貴社の主たる所在地はどちらですか。該当するものを選択してください。(1つ選択)

	回答数(事業所)	構成比(%)
全体	286	100.0%
北海道	123	43.0%
北海道以外	163	57.0%
無回答・無効回答	0	0.0%

Q2-1



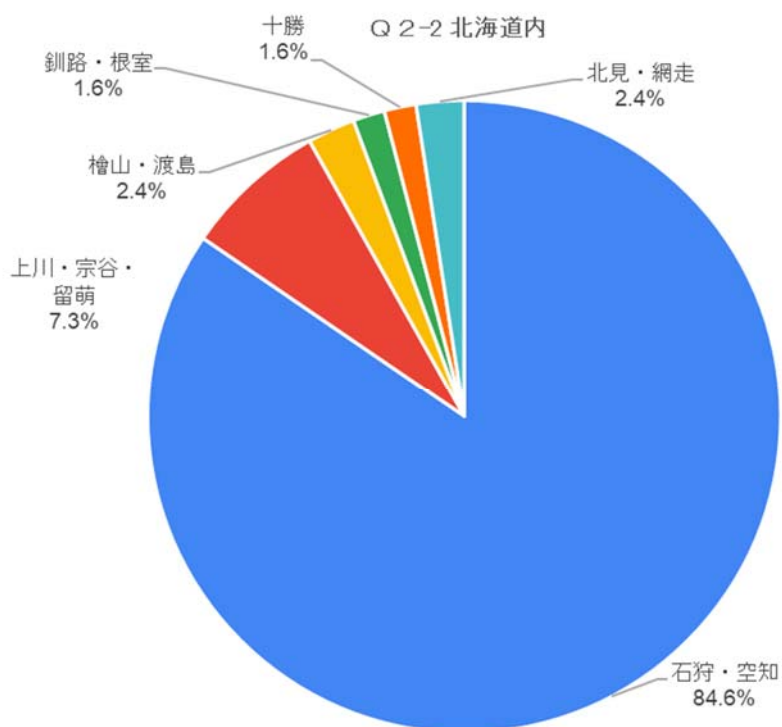
*パーセンテージは小数点以下第二位を四捨五入し記載

Q2)-2 事業所の所在地(北海道内)

回答事業所の所在地(北海道)は、「石狩・空知」が104事業所(84.6%)と最も多く8割以上となっており、次いで「上川・宗谷・留萌」9事業所(7.3%)、「檜山・渡島」「北見・網走」がそれぞれ3事業所(2.4%)となっている。

Q2)-2 貴社の主たる所在地はどちらですか。該当するものを選択してください。(1つ選択)

	回答数(事業所)	構成比(%)
全体	123	100.0%
石狩・空知	104	84.6%
上川・宗谷・留萌	9	7.3%
檜山・渡島	3	2.4%
胆振・日高	0	0.0%
釧路・根室	2	1.6%
十勝	2	1.6%
北見・網走	3	2.4%
後志	0	0.0%
無回答・無効回答	0	0.0%



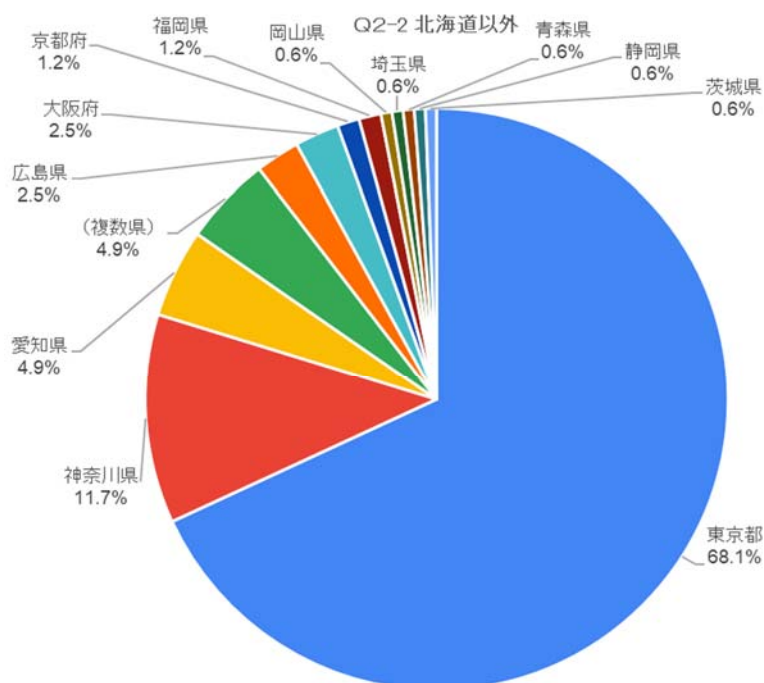
*パーセンテージは小数点以下第二位を四捨五入し記載

Q2)-2 事業所の所在地(北海道以外)

回答事業所の所在地は、複数の都道府県を選択している場合を除き、「東京都」が111事業所(68.1%)と最も多く6割以上となっており、次いで「神奈川県」19事業所(11.7%)、「愛知県」8事業所(4.9%)となっている。

Q2)-2 貴社の主たる所在地はどちらですか。都道府県名をご記入ください。

	回答数(事業所)	構成比(%)
全体	163	100.0%
東京都	111	68.1%
神奈川県	19	11.7%
愛知県	8	4.9%
(複数県)	8	4.9%
広島県	4	2.5%
大阪府	4	2.5%
京都府	2	1.2%
福岡県	2	1.2%
岡山県	1	0.6%
埼玉県	1	0.6%
青森県	1	0.6%
静岡県	1	0.6%
茨城県	1	0.6%
無回答・無効回答	0	0.0%



*パーセンテージは小数点以下第二位を四捨五入し記載

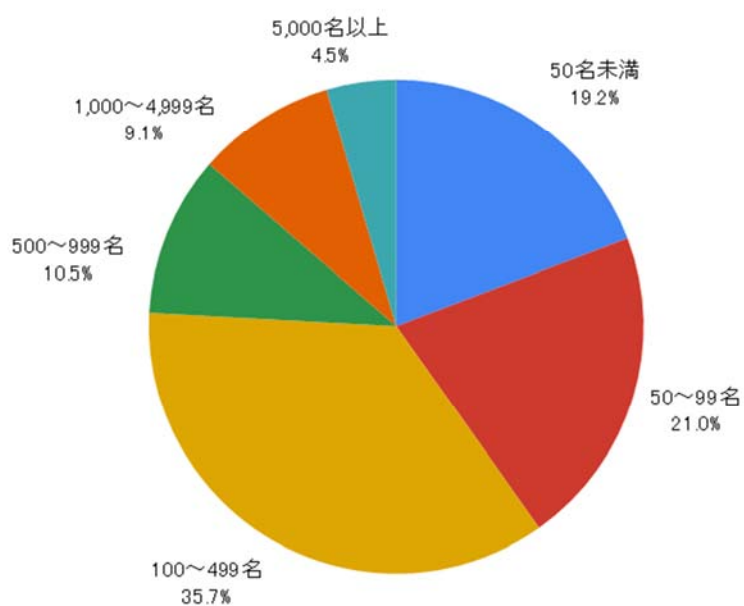
Q3) 事業所の規模

回答事業所の規模は、「100～499 名」102 事業所 (35.7%) が最も多く、「50～99 名」60 事業所 (21.0%)、「50 名未満」55 事業所 (19.2%) と続いている。

Q3) 貴社の従業員数(正規社員)について、該当するものを選択してください。(1 つ選択)

	回答数(事業所)	構成比(%)
全体	286	100.0%
50名未満	55	19.2%
50～99名	60	21.0%
100～499名	102	35.7%
500～999名	30	10.5%
1,000～4,999名	26	9.1%
5,000名以上	13	4.5%
無回答・無効回答	0	0.0%

Q3



*パーセンテージは小数点以下第二位を四捨五入し記載

Q4) 過去 3 年間の採用職種(複数選択可)

回答事業所の過去 3 年間の採用職種は、「情報処理・通信技術者」203 事業所(71.0%)が最も多く、「事務従事者」73 事業所(25.5%)、「販売従事者」49 事業所(17.1%)と続いている。

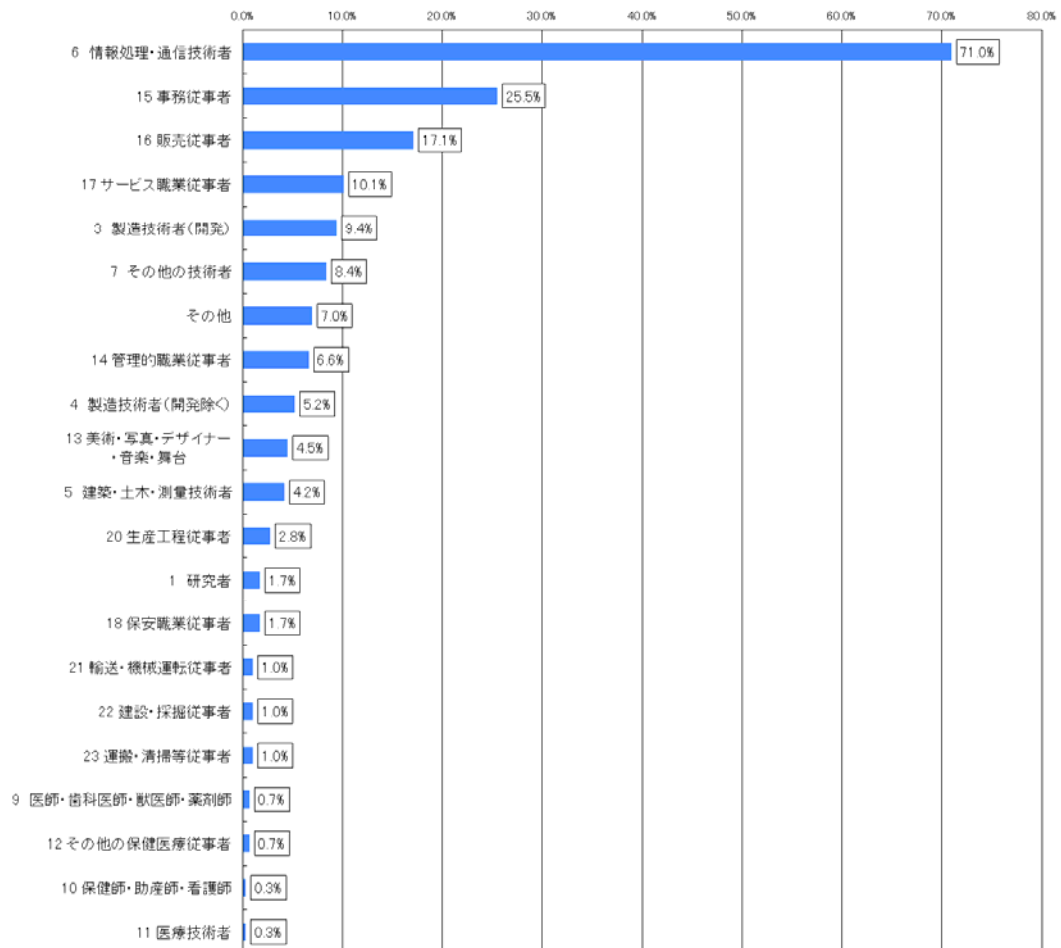
Q4) 貴社では、過去 3 年間でどのような職種を採用されましたか。

該当するものを選択してください。(複数選択可)

	回答数(事業所)	構成比(%)
全体	286	100.0%
1 研究者	5	1.7%
2 農林水産技術者	0	0.0%
3 製造技術者(開発)	27	9.4%
4 製造技術者(開発除く)	15	5.2%
5 建築・土木・測量技術者	12	4.2%
6 情報処理・通信技術者	203	71.0%
7 その他の技術者	24	8.4%
8 教員	0	0.0%
9 医師・歯科医師・獣医師・薬剤師	2	0.7%
10 保健師・助産師・看護師	1	0.3%
11 医療技術者	1	0.3%
12 その他の保健医療従事者	2	0.7%
13 美術・写真・デザイナー・音楽・舞台	13	4.5%
14 管理的職業従事者	19	6.6%
15 事務従事者	73	25.5%
16 販売従事者	49	17.1%
17 サービス職業従事者	29	10.1%
18 保安職業従事者	5	1.7%
19 農林漁業従事者	0	0.0%
20 生産工程従事者	8	2.8%
21 輸送・機械運転従事者	3	1.0%
22 建設・採掘従事者	3	1.0%
23 運搬・清掃等従事者	3	1.0%
その他	20	7.0%
無回答・無効回答	0	0.0%

(次ページへ続く→)

Q4



*パーセンテージは小数点以下第二位を四捨五入し記載

Q5) 過去 3 年間の年度別採用人数(2023 年度)

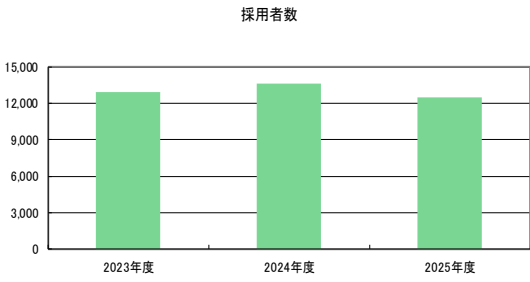
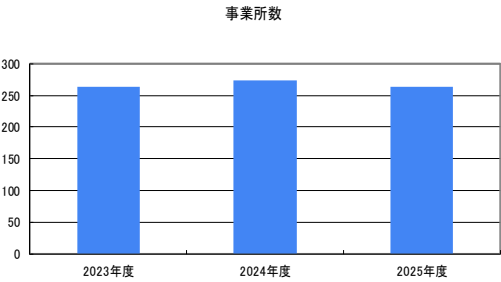
回答事業所の過去 3 年間の年度別採用人数は、2023 年度が 264 事業所 12,916 人、2024 年度が 273 事業所 13,640 人、2025 年度が 263 事業所 12,514 人となっている。

2024 年度から 2025 年度にかけて採用人数は減少したものの、毎年 12,000 人以上の採用実績があり、260 以上の事業所が採用を実施しているという状況である。

Q5)-1 貴社では、質問 4 で回答された職種を 2023～2025 年度何人採用されましたか。

該当する欄に採用人数をご記入ください。＊詳細がご不明な場合は概数をご記入ください。

2023年度			2024年度			2025年度		
	事業者数(事業所)	採用人数(人)		事業者数(事業所)	採用人数(人)		事業者数(事業所)	採用人数(人)
合計	264	12,916	合計	273	13,640	合計	263	12,514



Q6) 過去 3 年間の人材採用充足状況

回答事業所の過去 3 年間の人材採用充足状況は、「不足している」が 82 事業所 (28.7%)、「やや不足している」が 102 事業所 (35.7%) で、これらの合計は 184 事業所 (64.3%) で 6 割以上の事業所が不足感を持っている。

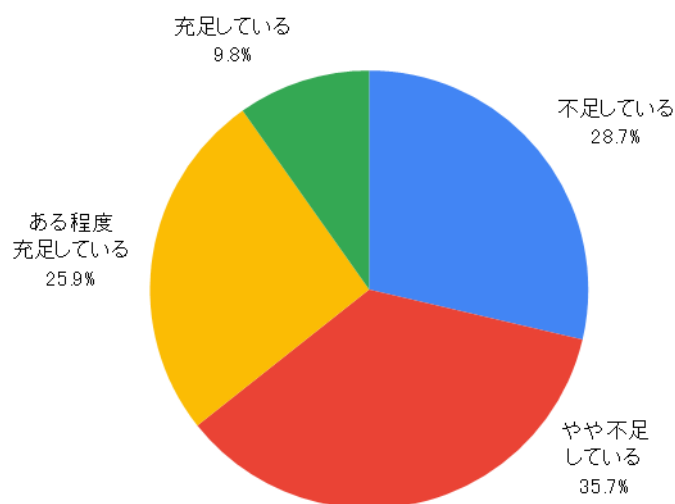
一方、「ある程度充足している」は 74 事業所 (25.9%)、「充足している」は 28 事業所 (9.8%) で、これらの合計は 102 事業所 (35.7%) となっている。

Q6) 貴社では、過去 3 年間で採用された職種の充足状況についてどのようにお考えですか。

該当するものを選択してください。(1 つ選択)

	回答数(事業所)	構成比(%)
全体	286	100.0%
不足している	82	28.7%
やや不足している	102	35.7%
ある程度充足している	74	25.9%
充足している	28	9.8%
わからない	0	0.0%
無回答・無効回答	0	0.0%

Q6



*パーセンテージは小数点以下第二位を四捨五入し記載

Q7) 人材採用時の重視点 *複数選択可(2つまで)

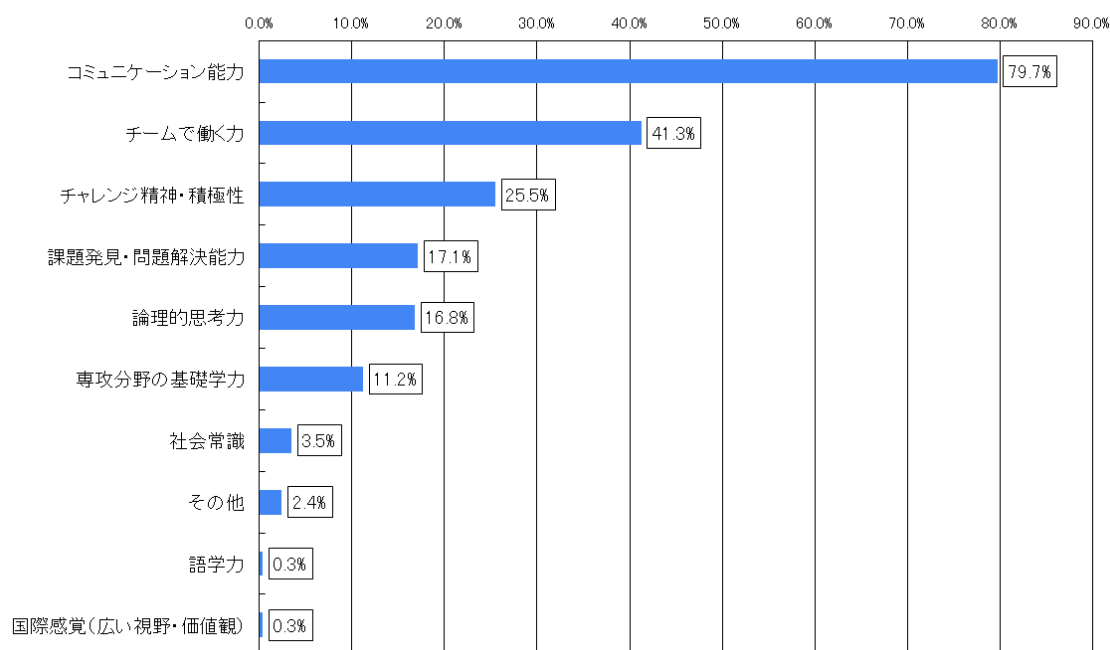
回答事業所の人材採用時の重視点は、「コミュニケーション能力」228 事業所(79.7%)が最も多く、「チームで働く力」118 事業所(41.3%)、「チャレンジ精神・積極性」73 事業所(25.5%)と続いている。

Q7) 貴社では、人材採用の際にどのような点を重視されていますか。

該当するものを選択してください。(2つまで選択)

	回答数(事業所)	構成比(%)
全体	286	100.0%
コミュニケーション能力	228	79.7%
語学力	1	0.3%
課題発見・問題解決能力	49	17.1%
チームで働く力	118	41.3%
チャレンジ精神・積極性	73	25.5%
国際感覚(広い視野・価値観)	1	0.3%
論理的思考力	48	16.8%
専攻分野の基礎学力	32	11.2%
社会常識	10	3.5%
その他	7	2.4%
無回答・無効回答	0	0.0%

Q7



*パーセンテージは小数点以下第二位を四捨五入し記載

Q8) 北海道情報大学 総合情報学部 情報理工学科(仮称)設置の必要性

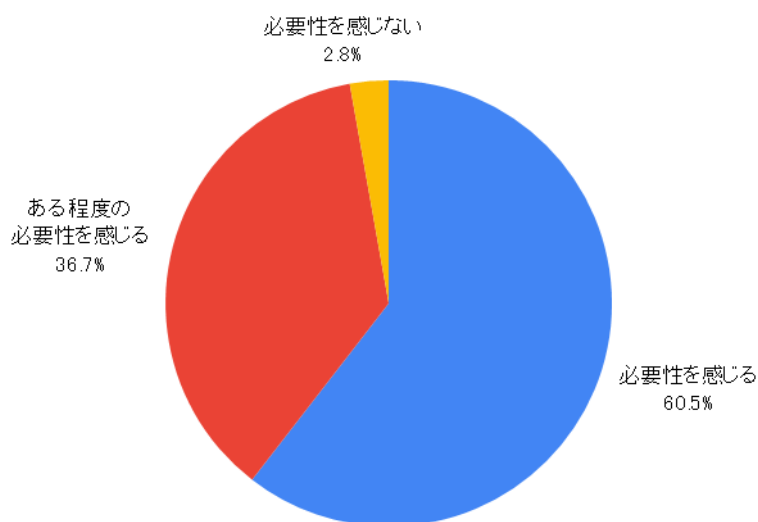
北海道情報大学 総合情報学部 情報理工学科(仮称)設置の必要性について、「必要性を感じる」が 173 事業所(60.5%)と最も多く、次いで「ある程度の必要性を感じる」が 105 事業所(36.7%)となっており、これらの合計が 278 事業所(97.2%)と、9 割以上の事業所が新学科設置について何らかの必要性を感じている。

一方、「必要性を感じない」は 8 事業所(2.8%)、「無回答・無効回答」の事業所はなかった。

Q8) 貴社では、北海道情報大学 総合情報学部 情報理工学科(仮称)の設置の必要性について
どのようにお考えですか。該当するものを選択してください。

	回答数(事業所)	構成比(%)
全体	286	100.0%
必要性を感じる	173	60.5%
ある程度の必要性を感じる	105	36.7%
必要性を感じない	8	2.8%
無回答・無効回答	0	0.0%

Q8



*パーセンテージは小数点以下第二位を四捨五入し記載

Q9)-1 北海道情報大学 総合情報学部 情報理工学科(仮称)卒業生の採用意向

北海道情報大学 総合情報学部 情報理工学科(仮称)卒業生の採用意向について、「採用したい」が188事業所(65.7%)と最も多く、次いで「採用を検討したい」が88事業所(30.8%)で、何らかの採用意向を持つこれらの合計が276事業所(96.5%)で9割以上となっている。

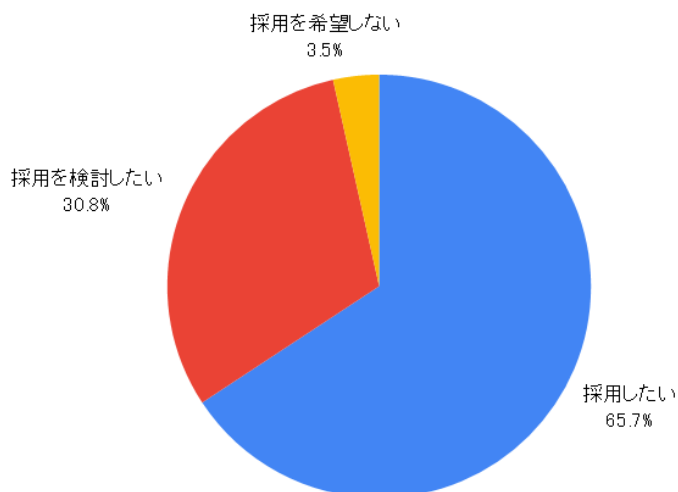
一方、「採用を希望しない」は10事業所(3.5%)で、無回答・無効回答の事業所はなかった。

Q9)-1 貴社では、北海道情報大学 総合情報学部 情報理工学科(仮称)の卒業生の採用についてどのようにお考えですか。該当するものを選択してください。

* 意向・人数は需要を調査するもので、記載された人数の採用を求めるものではありません。

	回答数(事業所)	構成比(%)
全体	286	100.0%
採用したい	188	65.7%
採用を検討したい	88	30.8%
採用を希望しない	10	3.5%
無回答・無効回答	0	0.0%

Q9



*パーセンテージは小数点以下第二位を四捨五入し記載

Q9)-2 北海道情報大学 総合情報学部 情報理工学科(仮称)卒業生の採用意向人数

北海道情報大学 総合情報学部 情報理工学科(仮称)卒業生の採用意向人数は、「採用したい」が188事業所 505人(うち人数未回答:11事業所)、「採用を検討したい」が88事業所 184人(うち人数未回答:10事業所)で、「採用したい」及び「採用を検討したい」と回答した層の採用希望人数は合計で689人となっている。

Q9)-2「採用したい」「採用を検討したい」を選択いただいた場合、採用人数についてはどのようにお考えですか。

Q9) 採用需要	採用意向人数内訳(人)	
採用したい	188事業所→計505人	内、11事業所→未回答
採用を検討したい	88事業所→計184人	内、10事業所→未回答
合計	689人	

Q10) 北海道情報大学 総合情報学部 情報理工学科(仮称)への意見・要望

Q10) 北海道情報大学 総合情報学部 情報理工学科(仮称)設置計画への

ご意見、ご要望をお聞かせください。

Q10)
アンケートを送った会社に、学校内就職説明会の機会を設けていただきたいと思います。
このたびの設置計画につきましては、今後の情報分野を担う人材育成の観点から、大いに期待しております。
もし学科設置に関連した説明会や意見交換の機会がございましたら、ぜひ参加させていただけますと幸いです。教育方針や育成を目指されている人材像などを直接伺うことで、今後の採用活動において、より具体的にイメージを持たせていただけるのではないかと感じております。
今後のご案内を楽しみにお待ちしております。
情報理工学科で合同説明会を開催して学生と企業が生で交流する機会を作っていただき、学生と企業双方がメリットとなる機会としていただきたいと思います。
設置の際には是非、例年東京で開催されていた学校説明会の開催を切に望みます
弊社は東京都に本社を置くソフトウェアの開発会社です。
情報理工学科(仮称)の学生の方に向けての企業マッチングを、今後キャリアサポートをご担当される方が実施するにあたり、キャリアサポートのご担当者様に向けた弊社の紹介から始めさせていただける機会がありましたら、ぜひオンライン上で一度お打ち合わせの機会をいただきたいと思いますので、ご検討の程、よろしくお願い申し上げます。
AIやデータサイエンス、プログラミングといった分野が急成長し、社会全体でIT人材が求められており、IT人材の需要が急増している現状で、少子化の中でもこの潮流に特化した学部が更に増加するため、必要と思われる。
AI等先端技術がもてはやされているIT業界ですが、ITに携わるのでしたらまずコンピューターサイエンス基礎から大学であれば上級までしっかりと身に付けられる指導をしてもらいたいと思います。その上で今後(現在でも)は主流となるウェブ開発手法や将来のITの世界に興味をもつ夢ある人材育成を育ててください。
ITスキルもさることながら、ヒューマンスキルに関する教育も含めてお願いしたいです。
IT事業に係る実践力(技術力、人間力など)を身に付けた人材育成に大いに期待いたします。
当社社長が貴大学出身者でもあり、卒業生の採用には積極的に対応させていただきます
サービス業を営んでおりますので、IT系の知識に精通しながらもサービス業に従事することを志してくれる学生さんがいらっしゃいますと幸いです。
どの業種もAI技術と隣り合わせの世界へと進んでいる中で、そのような手段をいかに活用していくかを結びつける考え方は養うのに時間がかかると思いますので、ぜひともご計画を進めていただけると幸いです。どうぞよろしくお願いいたします。
開発はAIが執って替わるので、ニーズを分析してER図まで書ける人材を求めます
学生のコミュニケーション力向上
基礎学力が不足しており、専門課程の教育も基礎力不足によりただ資格を取得するだけで論理的な思考力を伴っていない学生が多く見受けられます。学習習慣を大学までに身につけていないことがまずもって問題であると感じており、1年次での国家資格取得段階において、自身で学習計画を立て、学習を継続的に行うという基礎的な学習習慣を身につけられてこそその専門教育なのではないかと感じます。
現場では知識も大事ですが知恵が大事です。
学んだ知識をどう使うか、臨機応変に対応できる対応力を付けて欲しいと思います。
また、近年叱られ慣れしていない学生が多く、現場でストレスを抱えているのを目にします。ストレス耐性を高めるための学習など(ポジティブ思考・対処方法)も講義にあると良いと思います。
座学も重要ではあるが、実際に手を動かす実践形式の授業も積極的に取り入れていただきたい。
在学中に基本情報技術者や応用情報技術者の資格取得される方が多いと嬉しいですね。
昨今のITに関する技術については、IT人材輩出における社会的な需要もさることながら、ある程度の技術があつてしかるべきというような、基本的な技術になりつつある(ユーザーとしてであつて、開発しろというわけではない)。簡単なものであつてもプログラムを組む作業というのは論理的思考を必要とするものであり、これを習得し卒業した暁には、どの業界においても有為な人材となることが期待される。しっかりと基本的なことを習得できるようなカリキュラムになることを切望します。
資格取得に力を入れるのではなく、論理的思考ができる学生を育成してほしい
実習経験をえられるような教育カリキュラムであれば、知識がより定着して良いかと思います。
情報技術、工学技術を活用して世の中の役に立ちたいという志を持つ人材を輩出していきたいと考えます。
情報技術の知識と社会に貢献する意識に加えて、働いて稼ぐ意識も必要と考えます。
情報系の基礎と論理的思考を身につけていただきたい。
情報工学系の専門性はもちろんですが、足元の基盤となる経済産業省が唱えている「社会人基礎力」についてもしっかりとカリキュラムを組んでいただくとよいと考えております。
職場環境や仕事の内容を理解していただくためにインターシップの活用をカリキュラムに入れていただきたい
生成AIなどのカリキュラムを活用してほしい
設置理念である、「情報科学・工学・経済学の知見を融合し、単なる技術適用に留まらない情報イノベーターを育成する」との記載を拝見し、今後ますます社会で活躍できる創造力豊かな「人」が育つ学科となることを心より期待しております。
専門知識のみならず、一般社会人常識、コミュニケーション能力を養成していただきたい。
専門的にITを学ぶ情報理工学科には興味があります。是非学生様とお話をしたり、当社のAIへの取り組みとコラボレーションのようなものが出来ればと考えております。
専門分野に特化しての学びは後々大きな基礎力となり、社会に大きく貢献出来る人材の育成と考えます。なお、弊社は物理的に離れていますが、首都圏での就業をお考えの学生も例年数名採用しており、機会があれば求人のご案内をさせて頂ければ幸いです。
地域企業が求めるDXを推進する上で、貴学に求めることとして、未来への創造力、柔軟な対応力、失敗を恐れず乗り越える姿勢など学生が学び実践的な経験を積むことを期待しています。

Q10)
当社では、ソフトウェア開発エンジニア、制御プログラム設計(PLC等)エンジニア、半導体設計エンジニアを採用しております。情報分野での人材育成に期待しております。
入学時から、授業の一環として、インターン以外でも多くの企業との接点を持てるようなカリキュラムを作った方が良いのではないかと思います。
物理、数学の学力向上
問題解決能力、コミュニケーション力を存分に発揮できるような複数人で行うプロジェクト演習のようなカリキュラムを多く盛り込んでほしいと思います。
論理的思考力とプログラミング技術を基盤に、課題解決力とチームで協働する力を身につけてほしい。
2026年4月入社の新卒採用でも貴校学生さんからは2名の内定承諾をいただいております。
より一層、専門スキルを有する貴校学生さんをお迎えしたく本専攻の設置をお待ちしております。
GX・DXに関わることが多いため期待しております。
IT業界の中でも多数のカテゴリーに分かれている現在、自身の将来のキャリアについてある程度イメージが持てる学生様教育を期待しております。
IT需要は年々高まっており、プログラミングの経験がある学生を採用したい。
これからの時代に必要不可欠な分野であり、先を見据えた新学科の設置で今後のDXやGXをリードする人材が生まれることに大きく期待しています。
とても期待しています
プログラマーを積極的に採用したい
弊社の主力事業であるスマートデバイス販売(携帯ショップ運営)においても、データ活用力を備えDX型接客を実現できる方、GX/HXの視点を持ち社会課題解決に取り組める方、さらに情報倫理観を備え顧客からの信頼を確保できる方など、貴学で学ばれた学生の皆さまが大いに活躍されたと感じております。
今年度も貴学の学生にご入社いただいておりますが、大変優秀で成長も早く、現場にとっても良い刺激をいただいております。
今後とも、ぜひ多くの学生の皆さまが社会で活躍されることを期待するとともに、弊社としても積極的にご縁をつなげていければと存じます。
より活躍が期待できる卒業生の育成を期待しております
企業人事の立場から拝見し、ICT人材の育成に向けた先進的な取り組みが数多く盛り込まれていると感じており、非常に期待の持てる学科であると認識しております。
今後、当学科で学ばれた学生の皆さまが社会に羽ばたかれ、弊社をはじめとする企業にお迎えできる日を心より楽しみにしております。
期待しています。
期待しておりますので、是非当社にご応募下さい。
貴学の卒業生は当社でも安定した定着率を誇り、誠実に業務に取り組んでいただいております。新学科でも、こうした強みを活かしつつ、より時代に即した専門性の強化に期待しています。
決定しましたら採用を検討したいと思います
高度な知識を大学1年生から学べ、国家資格取得にも挑戦していくことができるのは、弊社としてとても採用したいと感じました。
国家資格取得を前提としたカリキュラムに希望を感じております。設置後は、ぜひ当社事業及び採用に関してご説明の機会をいただければ幸いです。
昨今学生数が減り採用が厳しい状況が続いていますが、東京に出てチャレンジしたいと思ってくれる意欲のある方は歓迎です。OBが2名活躍しているのでも是非入社いただきたいです。
社内でのDX化を現在内製化しようと考えており、取り組んでいる。ぜひそのようなチームを担うリーダーを育てていただきたい。
情報活用、情報技術のどちらがメインの学部となるかによるが、情報技術者の育成をメインにしているのであれば、積極的に採用を検討したい。
設置なさった際にはぜひ学生様とお会いしたいと思っております。
先端分野の人材発掘・育成に期待していますので、今後ともよろしくお願いいたします。
長期にわたってソフトウェア開発の最前線で活躍できるような基礎力を学んだ学生の輩出を期待しております。
東京で新入社員研修を受講(約半年程度)その後、希望があれば札幌に戻ることも可能です。札幌に事業所を作ったので、積極的に募集します。
当社はICTインフラの運用、保守およびソリューションサービスの提供をメインとしており、今後の情報通信サービス業界の担い手として情報理工学科の学生を必要としております。
弊社でも介護等社会貢献につながるプログラムの開発を行っており、「環境や医療分野に焦点をあてたDX化を推進できる人材を育てる」という御校の思いは大変共感するものがあります。学科の新設自体が大きな社会貢献で素晴らしい取り組みだと思います。
また、1年目でしっかり基礎を学び資格を意識させることは、その後の成長を促す良いカリキュラムだと思います。
弊社は業務系・組込み系のシステム開発を手掛けており、情報理工学を学んだ学生の採用需要は非常に高いです。
またシステムコンサルティング・DX推進支援・データ分析などのサービス提供も行っているため、これらの分野での人材ニーズは高く、貴校が計画されている新設学部卒業生には、習得された知識や技術を生かした即戦力としての活躍が大いに期待できるのではないかと考えています。
設置されました際には、ぜひとも採用活動などを通じて卒業生とご縁につながりましたら幸いです。
弊社は空間情報の収集解析サービスを行っています。パンフレットに記載ありましたジオインフォマティクス、環境情報・シミュレーション、画像AIなどの分野は、事業と関連が深いため、学生の育成に期待しています。
優秀な人材を育成されることを期待いたします。
有望な方の輩出に期待いたします。
DX化が進む現代社会の中で、重宝される人材の教育が実現できるのではないかと考えます。
ICTの基礎を学ぶのはとても有意義だと思います。
IT人材への注目度に対して、北海道内情報特化の4年制大学がまだ少ないため、学生様・企業様どちらからも需要があるように思います。
いわゆる情報AI技術者としての能力は全産業に共通であると思われる
とても時代に則した学科だと思います。時代に応じて進化していく学問のように感じました。期待しております。
パンフレット拝見しました。持続可能な社会に向けた人材の育成、是非お願いしたいと思います。今後ともよろしくお願いいたします

Q10)
意見・要望ではないのですが、人材像にある通り、DXを推進できる人材は多くの企業で求められていくと感じます。採用活動の中で、学生さんとお会いできるのを楽しみにしております。
営業職・技術職採用のため、知見を活かしての職種ではなく学生が希望する職種ではないかと思いますが、近年データサイエンスなどの知識は今後の情勢的に必要かと思います。
我々の情報サービス業にとってまさにこれから必要となる分野だと思います。大いに期待しております。
貴校から人数は少ないものの、弊社でご活躍されている事実があり、情報というひとくりでも分野分けされている中で、専門性をより際立たせることはとてもわかりやすいと感じております。
現代社会において、高い需要が見込まれるのではないかと考えております。
更なるDXの発展に求められる人材の育成に適した設備とカリキュラムが整備されていると感じました。世界で活躍するデジタル人材が多く輩出されることを期待しております。
国家資格の取得も積極的に挑戦させるご様子なのはとてもよいと感じました
今後ますます情報技術が必要になる社会において、必ず需要があると思います。
今後も情報系の専門知識を保有する人材は必要不可欠であり、これら学科の強化拡充をお願いしたい。
私は弊社に勤務しながら、専門学校(デジタルアニメ制作・原画)・大学(デジタルマンガ制作・アニメ制作)に20年専任・非常勤を今も続けておりますが、最近の学校側や学生の動向等も大きく変化しているのが感じております。先日市内のある大学から呼ばれて行ってきましたが、各学科毎に、キャリアセンターの方々が、結構な人数おり対応している大学や、それとは真逆な大学さんもありました。
学科専攻を時代に即して見直し、編成しなおす取り組みはとても良いと感じました。
専門学生は就職に対する意識は高いのですが、スキル不足、それとは逆に大学生はスキルは(試験もあるので)高い学生が多いのですが、就職に対する意識が、学生も学校側も薄いのが正直な印象でした。御校には企業説明にも2度ほど生かせて頂いておりますが、学生さんの意識ととても高く感じました。学校としては毎年確実に学生数が減ってゆき、時代の変化に合わせて、編成等を真剣に取り組む姿勢はとても良いと感じました。
時代のニーズに対応しているので必要であると思います
社会における需要にタイムリーに対応されており良いタイミングだと感じます。
社会課題の解決のためのICT提案は大変重要と存じます。今後ともよろしく願いいたします。
首都圏で事業を展開している当社では、これまで定着にやや課題を感じる場面もございました。今後、学生の皆さまが安心して長く働けるようなサポートや取り組みがさらに充実されると、より積極的に採用を検討しやすくなると感じております。
就職懇談会では新キャンパス含め貴校の取り組みを伺い大変勉強になりました。是非、新学科設立の際は貴校より採用実績が出れば幸いです。今後とも何卒、宜しく願い致します。
情報系の学生の絶対数が不足していると感じているため、「総合情報学部」が新設されることをうれしく感じました。
新たな学部学科の新設により、DX社会における貴校の貢献はますます大きくなると思います。
世の中はたえず変化しており、それに対応していくためにも是非とも人材育成をお願いしたいと思います。
素晴らしい計画だと思います。子どもたちが存分に学び体験できる環境が実現できるよう願っております。
日本全体を考えると、IT人材は不足しています。必要な学部と思います。
弊社がクリエイティブ企業である以上、何の価値がある、どんな提案が出来るかが肝となるが、その部分ではどんな活躍が期待できる人材が輩出されるのかピンとこなかった。
北海道においては理系学部大学が不足傾向のため本計画に賛同する

4. 採用需要分析

北海道情報大学 総合情報学部 情報理工学科(仮称)の卒業生の採用需要は下記のとおり。

Q9) 採用需要	採用意向人数内訳(人)	
採用したい	188事業所→計505人	内、11事業所→未回答
採用を検討したい	88事業所→計184人	内、10事業所→未回答
合計	689人	

北海道情報大学 総合情報学部 情報理工学科(仮称)卒業生の採用意向人数は、「採用したい」が188事業所505人(うち人数未回答:11事業所)、「採用を検討したい」が88事業所184人(うち人数未回答:10事業所)で、「採用したい」及び「採用を検討したい」と回答した層の採用希望人数は合計で689人となっている。

実際に採用に至るか否かについては就職希望者個人の人格や能力が大きく影響すると思われるが、ここでは「採用したい」に加えて、「採用を検討したい」までを採用需要として定義する。上記の採用意向で人数が未回答であった事業所の採用意向人数を保守的に1事業所当たり1人と仮定した場合、推計採用意向人数(採用の可能性のある人数)は下記のとおりとなる。

Q9) 採用需要	採用意向人数内訳(人)
採用したい 188事業所	188事業所505人+11事業所11人=516人
採用を検討したい 88事業所	88事業所184人+10事業所10人=194人
合計	710人

北海道情報大学 総合情報学部 情報理工学科(仮称)卒業生の採用需要は「採用したい」のみで516人、「採用を検討したい」まで含めると710人で、「採用したい」が北海道情報大学 総合情報学部 情報理工学科(仮称)の入学定員(80人)の6.5倍、「採用を検討したい」まで含めると8.9倍となり、北海道情報大学 総合情報学部 情報理工学科(仮称)卒業生に対する高い採用需要があるといえる。

5. 補記

アンケート説明文 1/4



学びに変革を。
社会に革新を。

2027年4月 開設予定
総合情報学部
情報理工学科 (仮称・設置構想中)
Department of Information Science and Technology

 北海道情報大学

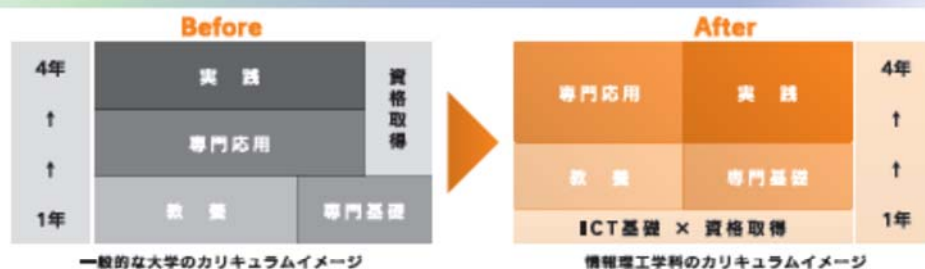
社会課題解決に特化した実践型カリキュラム

社会が「DX」の推進を求めると同時に、あらゆる業界でIT人材の需要が急増しています。現代社会が抱える多様な課題に対して、高度な情報通信技術（ICT）がもたらす変革「DX」を基盤とした独自のカリキュラムが展開されます。地球温暖化から、みんなの健康まで、社会のさまざまな課題に、仲間や教員とともにICTの力で立ち向かいましょう。



未来で輝くための「パスポート」を、その手に。

国家資格（基本情報技術者）の取得も1年次に挑戦。その資格は、その後の学修とあなたが社会で活躍するための強力な武器になります。卒業後のキャリアに直結する、より専門性の高い情報処理系の国家資格取得も強力に支援していきます。



資格取得の過程でICTの基礎を確実に身に付け、その後の発展的な学びにつなげていきます。

取得可能な資格

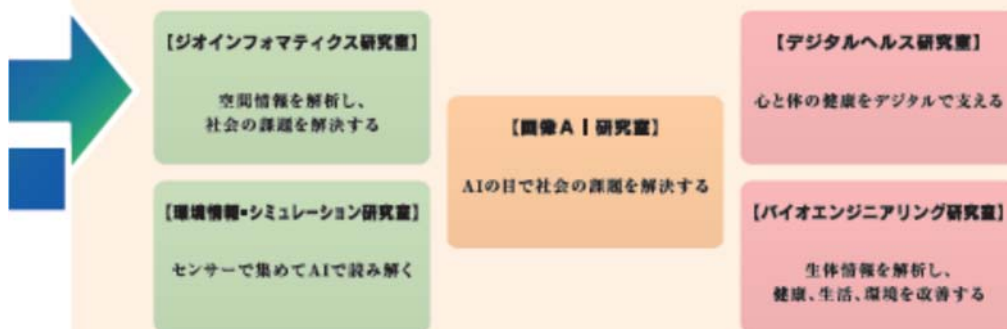
- 基本情報処理技術者試験
- プロジェクトマネージャ試験
- ITサービスマネージャ試験
- 応用情報技術者試験
- ネットワークスペシャリスト試験
- システム監査技術者試験
- ITストラテジスト試験
- データベーススペシャリスト試験
- 情報処理安全確保支援士試験
- システムアーキテクト試験
- エンベデッドシステムスペシャリスト試験
- GIS学術士

多くの専門分野をカバーする現場経験豊富な教員陣との学び

情報科学、数理・データサイエンス、AIなどの基盤となる科目を1年次から集中して学び、高度な専門知識を学ぶための強固な土台を築きます。豊富な実習や演習に加え、3年次から所属する研究室では、最先端かつ多様な研究分野を深く掘り下げ、社会や現場のリアルに触れて自ら問題を発見し、ICTを活用して解決するスキルを実践的に身につけます。

「やってみたい！」が、そのまま学びに変わる。

1研究室に教員を複数人配置し、多様な学生に対応できる体制を構築
興味・関心に合わせて自由な研究活動をサポート



ICTの適切な利用と倫理観の涵養

あなたこそ、未来を創る「情報イノベーター(革新者)」です。

北海道情報大学ならではのアントレプレナーシップセンターでの活動や国際情報プログラムでの学び(任意)は、あなたの社会での活躍の場をさらに広げます。情報、環境、医療、ビジネス・・・あらゆる分野で新しい時代を切り拓くのは、あなたです！

アントレプレナーシップセンター

起業家精神の育成

国際情報プログラム

グローバル視点の育成

情報理工学科での学び

高度情報社会に貢献できる情報イノベーターへ



豊富な実習授業は充実のICT環境で行います。
入学者全員に1人1台無償でノートPCも貸与されます。

卒業後の進路

- IT企業
- IT・テクノロジー関連職
- 公共政策・社会系分野のコンサルタント
- 一般企業のデジタル戦略担当
- 情報システム担当
- DX・GX・HX担当
- 起業家
- 進学(大学院修士課程)など

アンケート説明文 4/4

総合情報学部 情報理工学科

学位：学士(総合情報学) / 入学定員：80名

養成する人材像

情報理工学科は、情報科学、数理・データサイエンス、AIの高度な技術を深く理解し、DXを強力に推進できる人材を育成します。また、GXやHXの実践を通してデータ分析力を駆使し、社会課題を解決して新たな価値を創造する応用力を養います。さらに、国際社会と協調しながら革新的な技術やビジネスモデルを開発・社会実装できる起業家精神を育み、高度情報社会における倫理観と責任感を持ち、情報技術を通して社会に貢献する意欲と行動力を備えた人材を養成します。

設置の理念

情報化社会が急速な変革を遂げ、デジタル・トランスフォーメーション(DX)が不可逆な潮流となる中、地球環境との調和(グリーン・トランスフォーメーション:GX)や人々の健康増進(ヘルスケア・トランスフォーメーション:HX)といった、人類が直面する喫緊かつ根源的な課題への対応が求められています。情報理工学科は、情報科学、工学、そして経済学の知見を持ち、これらの社会課題に対し、単なる技術適用に留まらない、真に革新的な解決策を生み出す「情報イノベーター(情報の革新者)」を育成します。これにより、持続可能な社会の実現と、社会全体のウェルビーイングの最大化に寄与することを目指します。

アドミッションポリシー / 情報理工学科 入学受入れの方針

卒業認定・学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)で定めている育成すべき人材像を実現するため及び教育課程編成・実施の方針(カリキュラム・ポリシー)に定める教育を受けるために、高等学校等での学びや諸活動、資格・検定試験等で得た基礎学力、基礎知識、語学力、読解力、論理的思考力及び主体的に学ぶ意欲等を身に付け、本学の情報理工学科に興味・関心を持った人を求めています。

また、本学入学後の学びや諸活動を通して、次のような能力を身に付けられる学生を求めています。

- 学ぶ意義を理解できる人
- グループで議論や活動ができる人
- 情報科学、数理・データサイエンス・AIなどの分野に興味を持ち、社会の各分野で貢献できる人
- 社会課題に対する関心を持ち、持続可能な社会の実現に貢献したいという意欲を持っている人
- 論理的思考力、コミュニケーション能力、協調性を持ち、主体的に学習に取り組むことができる人
- 多様な価値観を尊重し、グローバルな視点を持って行動できる人

学生納付金について

総合情報学部 情報理工学科 初年度学生納付金

(納付金は2027年度予定の金額です)

大学名	学部・学科名	入学定員	収容定員	年 限	初年度納付金
北海道情報大学	総合情報学部 情報理工学科	80名	320名	4年	1,320,000円

競合する近隣同分野の初年度学生納付金

(他大学の納付金は各大学のウェブサイト掲載情報に基づきます)

大学名	学部・学科・専攻名	入学定員	収容定員	年 限	初年度納付金
北海道科学大学	情報科学部 情報科学科	100名	400名	4年	1,600,000円
北海学園大学	工学部 電子情報工学科	70名	280名	4年	1,590,000円

所在地・アクセス方法



● 札幌から From Sapporo

JR利用の場合

JR「札幌」駅よりJR「野幌」駅(23分)下車 ジェイ・アール北海道バスで「情報大学前」(5分)下車

JR「札幌」駅 23分程度 JR「野幌」駅 5分程度 ジェイ・アール北海道バス「情報大学前」

ジェイ・アール北海道バス「情報大学前」

高速バス利用の場合

JR「札幌」駅周辺都市間高速バスのりばより高速バス停留所「野幌」(25分)下車 徒歩(3分)

札幌駅 25分程度 高速バス「野幌」 徒歩3分程度 北海道情報大学

● 新千歳空港から From Shin-Chitose Airport

JR「新千歳空港」駅よりJR「新札幌」駅(28分)下車 ジェイ・アール北海道バス「情報大学前」行き、又は「野幌運動公園」行き乗車「情報大学前」(25分)下車

JR「新千歳空港」駅 28分程度 JR「新札幌」駅 25分程度 ジェイ・アール北海道バス「情報大学前」

お問い合わせ

北海道情報大学
Hokkaido Information University

〒069-8585 北海道江別市西野幌59番2
59-2 Nishi-Hoppo, Ebetsu, Hokkaido, 069-8585

TEL (011) 385-4411 (代表)

FAX (011) 384-0134



<https://www.do-johodai.ac.jp/>

北海道情報大学 総合情報学部 情報理工学科 × Ⅲ (仮称)設置に係る採用需要調査

北海道情報大学では、新たに「総合情報学部 情報理工学科（仮称）」の設置を検討しております。
つきましては、設置計画の検討にあたり、企業の皆様からの率直なご意見を参考にさせていただきたく、アンケートへのご協力をお願い申し上げます。

質問1 貴社の主たる種別はどちらですか。該当するものを選択してください。(1つ選択)^{*}

- ☐ 1 農業・林業
- ☐ 2 漁業
- ☐ 3 鉱業・採石業・砂利採取業
- ☐ 4 建設業
- ☐ 5 製造業
- ☐ 6 電気・ガス・熱供給・水道業
- ☐ 7 情報通信業
- ☐ 8 運輸業・郵便業
- ☐ 9 卸売業・小売業
- ☐ 10 金融業・保険業
- ☐ 11 不動産業・物品賃貸業
- ☐ 12 学術研究・専門・技術サービス業
- ☐ 13 宿泊業・飲食サービス業
- ☐ 14 生活関連サービス業・娯楽業
- ☐ 15 教育・学習支援業
- ☐ 16 医療・福祉
- ☐ 17 複合サービス事業
- ☐ 18 サービス業(他に分類されないもの)
- ☐ 19 公務
- ☐ その他: _____

アンケート調査票 2/7

質問2-1 貴社の主たる所在地はどちらですか。該当するものを選択してください。(1つ選択)^{*}

- ☐ 北海道
- ☐ 北海道以外

質問2-2 貴社の主たる所在地はどちらですか。該当するものを選択してください。(1つ選択)^{*}

- ☐ 1 石狩・空知
- ☐ 2 上川・宗谷・留萌
- ☐ 3 檜山・渡島
- ☐ 4 胆振・日高
- ☐ 5 釧路・根室
- ☐ 6 十勝
- ☐ 7 北見・網走
- ☐ 8 後志

質問2-2 都府県名をご記入ください。^{*}

短文回答

~~~~~

### アンケート調査票 3/7

質問3 貴社の従業員数（正規社員）について、該当するものを選択してください。（1つ選択）\*

- ☐ 1 50名未満
- ☐ 2 50～99名
- ☐ 3 100～499名
- ☐ 4 500～999名
- ☐ 5 1,000～4,999名
- ☐ 6 5,000名以上

## アンケート調査票 4/7

質問4 貴社では、過去3年間でどのような職種を採用されましたか。該当するものを選択してください。(複数選択可)

- ☐ 1 研究者
- ☐ 2 農林水産技術者
- ☐ 3 製造技術者（開発）
- ☐ 4 製造技術者（開発除く）
- ☐ 5 建築・土木・測量技術者
- ☐ 6 情報処理・通信技術者
- ☐ 7 その他の技術者
- ☐ 8 教員
- ☐ 9 医師・歯科医師・獣医師・薬剤師
- ☐ 10 保健師・助産師・看護師
- ☐ 11 医療技術者
- ☐ 12 その他の保健医療従事者
- ☐ 13 美術・写真・デザイナー・音楽・舞台
- ☐ 14 管理的職業従事者
- ☐ 15 事務従事者
- ☐ 16 販売従事者
- ☐ 17 サービス職業従事者
- ☐ 18 保安職業従事者
- ☐ 19 農林・漁業従事者
- ☐ 20 生産工程従事者
- ☐ 21 輸送・機械運転従事者
- ☐ 22 建設・採掘従事者
- ☐ 23 運搬・清掃等従事者
- ☐ その他: \_\_\_\_\_

## アンケート調査票 5/7

質問5-1 貴社では、質問4で回答された職種を2023年度何人採用されましたか。該当する欄に採用人数をご記入ください。\*

＊詳細がご不明な場合は概数をご記入ください。

短文回答

---

質問5-2 貴社では、質問4で回答された職種を2024年度何人採用されましたか。該当する欄に採用人数をご記入ください。\*

＊詳細がご不明な場合は概数をご記入ください。

短文回答

---

質問5-3 貴社では、質問4で回答された職種を2025年度何人採用されましたか。該当する欄に採用人数をご記入ください。\*

＊詳細がご不明な場合は概数をご記入ください。

短文回答

---

質問6 貴社では、過去3年間で採用された職種の充足状況についてどのようにお考えですか。該当するものを選択してください。(1つ選択) \*

- ☐ 1 不足している
- ☐ 2 やや不足している
- ☐ 3 ある程度充足している
- ☐ 4 充足している
- ☐ 5 わからない

## アンケート調査票 6/7

質問7 貴社では、人材採用の際にどのような点を重視されていますか。該当するものを選択してください。(2つまで選択) \*

- ☐ 1 コミュニケーション能力
- ☐ 2 語学力
- ☐ 3 課題発見・問題解決能力
- ☐ 4 チームで働く力
- ☐ 5 チャレンジ精神・積極性
- ☐ 6 国際感覚（広い視野・価値観）
- ☐ 7 論理的思考力
- ☐ 8 専攻分野の基礎学力
- ☐ 9 社会常識
- ☐ その他: \_\_\_\_\_

質問8～10は、別添の概要パンフレットをご覧くださいながらお答えください。

質問8 貴社では、北海道情報大学 総合情報学部 情報理工学科(仮称)の設置の必要性についてどのようにお考えですか。該当するものを選択してください。 \*

- ☐ 1 必要性を感じる
- ☐ 2 ある程度の必要性を感じる
- ☐ 3 必要性を感じない

## アンケート調査票 7/7

質問9-1 貴社では、北海道情報大学 総合情報学部 情報理工学科(仮称)の卒業生の採用についてどのようにお考えですか。該当するものを選択してください。

\*意向は需要を調査するもので、採用を求めるものではありません。

- ☐ 1 採用したい
- ☐ 2 採用を検討したい
- ☐ 3 採用を希望しない

質問9-2 「1 採用したい」「2 採用を検討したい」を選択いただいた場合、採用人数についてはどのようにお考えですか。

\*人数は需要を調査するもので、記載された人数の採用を求めるものではありません。

短文回答

---

質問10 北海道情報大学 総合情報学部 情報理工学科(仮称)設置計画へのご意見、ご要望をお聞かせください。

長文回答

---

新設組織が置かれる都道府県への入学状況

別紙 1

○出身高校の所在地県別の入学者数の構成比（上位 5 都道府県）※直近年度

|   | 都道府県名 | 人 数     | 構成比    |
|---|-------|---------|--------|
| 1 | 北海道   | 14,256人 | 73.8%  |
| 2 | 青森県   | 317人    | 1.6%   |
| 3 | 岩手県   | 218人    | 1.1%   |
| 4 | 宮城県   | 161人    | 0.8%   |
| 5 | 秋田県   | 84人     | 0.4%   |
|   | 全 体   | 19,317人 | 100.0% |

※「学校基本調査」の「出身高校の所在地県別入学者数」から作成すること。

※大学、学部、学部の学科、短期大学、短期大学の学科を設置する場合のみ作成（専門職大学、専門職短期大学、高等専門学校を含む）。大学院は作成不要。

○新設組織が置かれる都道府県の定員充足状況

|   | 新組織所在地<br>（都道府県等） | 充足率     |         |         |
|---|-------------------|---------|---------|---------|
|   |                   | 令和 5 年度 | 令和 6 年度 | 令和 7 年度 |
| 1 | 北海道               | 98.54%  | 94.28%  | 99.76%  |
| 2 |                   |         |         |         |

※2校地で教育課程を実施する場合はそれぞれの状況を記載すること。

○新設組織の学問分野（系統区分）の定員充足状況

|   | 系統区分  | 充足率     |         |         |
|---|-------|---------|---------|---------|
|   |       | 令和 5 年度 | 令和 6 年度 | 令和 7 年度 |
| 1 | 理・工学系 | 101.88% | 99.39%  | 102.31% |
|   |       |         |         |         |

※「系統区分」は日本私立学校振興・共済事業団の「今日の私学財政」の系統区分に従うこと。

○収容定員充足率

※上記には、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」附則第2項及び第4項を適用した場合の学生数及び収容定員充足率を記入してください。その場合は、備考にその内訳を記入してください。  
※大学院、専攻科、別科、募集停止を行った学部等については記載不要です。  
※行は適宜追加してください。

## 既設学科等の入学定員の充足状況（直近 5 年間）

## 大学学部学科等名：情報メディア学部情報メディア学科

（大学の学科、短大の専攻課程、高専の学科ごとに作成。大学院は作成不要。）

## 1. 各選抜方法の状況

|           |      |          | R3年度入学者 | R4年度入学者 | R5年度入学者 | R6年度入学者 | R7年度入学者 | 平 均  |
|-----------|------|----------|---------|---------|---------|---------|---------|------|
| 総合型選抜     | 募集人員 |          | 54人     | 54人     | 54人     | 54人     | 54人     | 54人  |
|           | 延べ人数 | 志願者数     | 38人     | 55人     | 46人     | 42人     | 63人     | 49人  |
|           |      | 受験者数     | 38人     | 55人     | 46人     | 42人     | 64人     | 49人  |
|           |      | 合格者数     | 38人     | 55人     | 46人     | 42人     | 64人     | 49人  |
|           |      | うち追加合格者数 | 0人      | 0人      | 0人      | 0人      | 0人      | 0人   |
|           |      | 辞退者数     | 0人      | 0人      | 0人      | 1人      | 1人      | 0人   |
|           | 実人数  | 志願者数     | 38人     | 55人     | 46人     | 42人     | 63人     | 49人  |
|           |      | 受験者数     | 38人     | 55人     | 46人     | 42人     | 64人     | 49人  |
|           |      | 合格者数     | 38人     | 55人     | 46人     | 42人     | 64人     | 49人  |
|           |      | うち追加合格者数 | 0人      | 0人      | 0人      | 0人      | 0人      | 0人   |
|           |      | 辞退者数     | 0人      | 0人      | 0人      | 1人      | 1人      | 0人   |
|           | 入学者数 |          | 38人     | 55人     | 46人     | 41人     | 63人     | 49人  |
| 学校推薦型選抜   | 募集人員 |          | 78人     | 78人     | 78人     | 78人     | 78人     | 78人  |
|           | 延べ人数 | 志願者数     | 121人    | 156人    | 138人    | 108人    | 103人    | 125人 |
|           |      | 受験者数     | 121人    | 156人    | 138人    | 108人    | 103人    | 125人 |
|           |      | 合格者数     | 121人    | 156人    | 138人    | 108人    | 103人    | 125人 |
|           |      | うち追加合格者数 | 0人      | 0人      | 0人      | 0人      | 0人      | 0人   |
|           |      | 辞退者数     | 0人      | 1人      | 0人      | 1人      | 2人      | 1人   |
|           | 実人数  | 志願者数     | 121人    | 156人    | 138人    | 108人    | 103人    | 125人 |
|           |      | 受験者数     | 121人    | 156人    | 138人    | 108人    | 103人    | 125人 |
|           |      | 合格者数     | 121人    | 156人    | 138人    | 108人    | 103人    | 125人 |
|           |      | うち追加合格者数 | 0人      | 0人      | 0人      | 0人      | 0人      | 0人   |
|           |      | 辞退者数     | 0人      | 1人      | 0人      | 1人      | 2人      | 1人   |
|           | 入学者数 |          | 121人    | 155人    | 138人    | 107人    | 101人    | 124人 |
| 一般選抜      | 募集人員 |          |         |         |         |         | 40人     | 40人  |
|           | 延べ人数 | 志願者数     | 79人     | 127人    | 113人    | 109人    | 84人     | 102人 |
|           |      | 受験者数     | 74人     | 117人    | 111人    | 102人    | 80人     | 97人  |
|           |      | 合格者数     | 62人     | 57人     | 76人     | 96人     | 79人     | 74人  |
|           |      | うち追加合格者数 | 0人      | 0人      | 0人      | 0人      | 0人      | 0人   |
|           |      | 辞退者数     | 33人     | 25人     | 32人     | 61人     | 53人     | 41人  |
|           | 実人数  | 志願者数     | 79人     | 127人    | 113人    | 109人    | 76人     | 101人 |
|           |      | 受験者数     | 74人     | 117人    | 111人    | 102人    | 72人     | 95人  |
|           |      | 合格者数     | 62人     | 57人     | 76人     | 96人     | 71人     | 72人  |
|           |      | うち追加合格者数 | 0人      | 0人      | 0人      | 0人      | 0人      | 0人   |
|           |      | 辞退者数     | 33人     | 25人     | 32人     | 61人     | 53人     | 41人  |
|           | 入学者数 |          | 29人     | 32人     | 44人     | 35人     | 18人     | 32人  |
| 共通テスト利用入試 | 募集人員 |          |         |         |         |         | 46人     | 46人  |
|           | 延べ人数 | 志願者数     | 135人    | 154人    | 90人     | 106人    | 92人     | 115人 |
|           |      | 受験者数     | 135人    | 153人    | 89人     | 106人    | 91人     | 115人 |
|           |      | 合格者数     | 103人    | 58人     | 58人     | 98人     | 88人     | 81人  |
|           |      | うち追加合格者数 | 0人      | 0人      | 0人      | 0人      | 0人      | 0人   |
|           |      | 辞退者数     | 56人     | 47人     | 41人     | 79人     | 62人     | 57人  |
|           | 実人数  | 志願者数     | 135人    | 154人    | 90人     | 106人    | 92人     | 115人 |
|           |      | 受験者数     | 135人    | 153人    | 89人     | 106人    | 91人     | 115人 |
|           |      | 合格者数     | 103人    | 58人     | 58人     | 98人     | 88人     | 81人  |
|           |      | うち追加合格者数 | 0人      | 0人      | 0人      | 0人      | 0人      | 0人   |
|           |      | 辞退者数     | 56人     | 47人     | 41人     | 79人     | 62人     | 57人  |
|           | 入学者数 |          | 47人     | 11人     | 17人     | 19人     | 25人     | 24人  |
| その他の特別選抜  | 募集人員 |          | 2人      | 2人      | 2人      | 2人      | 2人      | 2人   |
|           | 延べ人数 | 志願者数     | 29人     | 4人      | 5人      | 17人     | 3人      | 12人  |
|           |      | 受験者数     | 29人     | 4人      | 5人      | 16人     | 3人      | 11人  |
|           |      | 合格者数     | 28人     | 1人      | 5人      | 15人     | 2人      | 10人  |
|           |      | うち追加合格者数 | 0人      | 0人      | 0人      | 0人      | 0人      | 0人   |
|           |      | 辞退者数     | 1人      | 0人      | 0人      | 1人      | 1人      | 1人   |
|           | 実人数  | 志願者数     | 29人     | 4人      | 5人      | 17人     | 3人      | 12人  |
|           |      | 受験者数     | 29人     | 4人      | 5人      | 16人     | 3人      | 11人  |
|           |      | 合格者数     | 28人     | 1人      | 5人      | 15人     | 2人      | 10人  |
|           |      | うち追加合格者数 | 0人      | 0人      | 0人      | 0人      | 0人      | 0人   |
|           |      | 辞退者数     | 1人      | 0人      | 0人      | 1人      | 1人      | 1人   |
|           | 入学者数 |          | 27人     | 1人      | 5人      | 14人     | 1人      | 10人  |
| 合計        | 募集人員 |          | 134人    | 134人    | 134人    | 134人    | 220人    | 151人 |
|           | 延べ人数 | 志願者数     | 402人    | 496人    | 392人    | 382人    | 345人    | 403人 |
|           |      | 受験者数     | 397人    | 485人    | 389人    | 374人    | 341人    | 397人 |
|           |      | 合格者数     | 352人    | 327人    | 323人    | 359人    | 336人    | 339人 |
|           |      | うち追加合格者数 | 0人      | 0人      | 0人      | 0人      | 0人      | 0人   |
|           |      | 辞退者数     | 90人     | 73人     | 73人     | 143人    | 119人    | 100人 |
|           | 実人数  | 志願者数     | 402人    | 496人    | 392人    | 382人    | 337人    | 402人 |
|           |      | 受験者数     | 397人    | 485人    | 389人    | 374人    | 333人    | 396人 |
|           |      | 合格者数     | 352人    | 327人    | 323人    | 359人    | 328人    | 338人 |
|           |      | うち追加合格者数 | 0人      | 0人      | 0人      | 0人      | 0人      | 0人   |
|           |      | 辞退者数     | 90人     | 73人     | 73人     | 143人    | 119人    | 100人 |
|           | 入学者数 |          | 262人    | 254人    | 250人    | 216人    | 208人    | 238人 |

## 2. 入学定員充足率

|               | R3年度入学者 | R4年度入学者 | R5年度入学者 | R6年度入学者 | R7年度入学者 | 平 均  |
|---------------|---------|---------|---------|---------|---------|------|
| 入 学 定 員       | 220人    | 220人    | 220人    | 220人    | 220人    | 220人 |
| 入 学 定 員 充 足 率 | 1.19    | 1.15    | 1.14    | 0.98    | 0.95    | 1.08 |
| 歩 留 率         | 0.74    | 0.78    | 0.77    | 0.60    | 0.62    | 0.70 |

（備考）特記事項がある場合は記載すること。

## 既設学科等の学生募集のためのPR活動の過去の実績

別紙 3

### ①募集を行った学科等名称及び取組の名称：オープンキャンパスにおいて施設見学等を実施し出願を促進する（大学全体）

|              | R5年度<br>入学者入試 | R6年度<br>入学者入試 | 取組概要と入学者数等に関する分析                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |
|--------------|---------------|---------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 参加者等総数 (a)   | 737人          | 880人          | ①取組概要<br>オープンキャンパスでは主に次のプログラムを実施して出願を促進している。<br>・大学全体説明 ・入試制度説明 ・模擬講義 ・キャンパス見学<br>・無料学食体験 ・学生発表 (キャンパスライフ、学修活動、サークルなどの紹介)<br>・保護者向け進学資金説明 ・個別相談コーナー<br>②過去の取組実績を踏まえた新設組織の入学者数の見込みに関する分析<br>対象者については、オープンキャンパス参加者の希望学科のデータが個人を特定できる形で残っておらず、学科別に集計することができないため、全学科対象の総数となる。オープンキャンパス参加者の受験率は、2カ年平均で65%、入学率は47%である。新学科設置後は同程度かそれ以上の効果を見込んでいる。 |
| うち受験対象者数 (b) | 442人          | 463人          |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |
| うち受験者数 (c)   | 299人          | 289人          |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |
| うち入学者数 (d)   | 247人          | 178人          |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |
| (受験率 c/b)    | 67. 6%        | 62. 4%        |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |
| (入学率 d/b)    | 55. 9%        | 38. 4%        |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |

### ②募集を行った学科等名称及び取組の名称：ホームページや各企業の媒体を利用し大学案内等を配付する（システム情報学科）

|              | R5年度<br>入学者入試 | R6年度<br>入学者入試 | 取組概要と入学者数等に関する分析                                                                                                                                                                                                                                 |
|--------------|---------------|---------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 参加者等総数 (a)   | 23811人        | 26904人        | ①取組概要<br>各種媒体を利用して本学の大学案内パンフレットや入学者選抜要項等を配付し出願を促進する。<br>②過去の取組実績を踏まえた新設組織の入学者数の見込みに関する分析<br>対象者については希望学科ごとの集計が難しいため、全学科対象の総数となる。全学科対象からシステム情報学科への受験者、入学者を集計しているため、受験率及び入学率については割合が少ない。例年同程度の資料請求者数を推移していることから、およそ2カ年の平均値となる11,000人の資料請求者を想定している。 |
| うち受験対象者数 (b) | 10869人        | 12234人        |                                                                                                                                                                                                                                                  |
| うち受験者数 (c)   | 95人           | 103人          |                                                                                                                                                                                                                                                  |
| うち入学者数 (d)   | 41人           | 70人           |                                                                                                                                                                                                                                                  |
| (受験率 c/b)    | 0. 9%         | 0. 8%         |                                                                                                                                                                                                                                                  |
| (入学率 d/b)    | 0. 4%         | 0. 6%         |                                                                                                                                                                                                                                                  |

### ③募集を行った学科等名称及び取組の名称：進学相談会等のガイダンスを実施し大学の魅力を発信する（システム情報学科）

|              | R5年度<br>入学者入試 | R6年度<br>入学者入試 | 取組概要と入学者数等に関する分析                                                                                                                                                                                                |
|--------------|---------------|---------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 参加者等総数 (a)   | 2477人         | 2893人         | ①取組概要<br>進路相談会や高校別ガイダンス等に参画し、大学の魅力、学べる分野等の背う名を行い、出願を促進する。<br>②過去の取組実績を踏まえた新設組織の入学者数の見込みに関する分析<br>高校での進学相談会等に積極的に参加し、高校生と多く接点を持ち大学の魅力を伝える。受験対象者に対する受験率や入学率はそれほど高くはないが、対面で大学の魅力を伝えられる機会は多くはないので、今後も積極的に参加を予定している。 |
| うち受験対象者数 (b) | 330人          | 402人          |                                                                                                                                                                                                                 |
| うち受験者数 (c)   | 16人           | 26人           |                                                                                                                                                                                                                 |
| うち入学者数 (d)   | 16人           | 24人           |                                                                                                                                                                                                                 |
| (受験率 c/b)    | 4. 8%         | 6. 5%         |                                                                                                                                                                                                                 |
| (入学率 d/b)    | 4. 8%         | 6. 0%         |                                                                                                                                                                                                                 |

### ④募集を行った学科等名称及び取組の名称：高校訪問を行い進路指導教員等へアプローチを行い出願を促進する（システム情報学科）

|              | R5年度<br>入学者入試 | R6年度<br>入学者入試 | 取組概要と入学者数等に関する分析                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |
|--------------|---------------|---------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 実施校総数 (a)    | 286校          | 287校          | ①取組概要<br>高校訪問を行い進路指導担当等の教員に大学で学べる分野、魅力等を伝え、出願を促進する。<br>②過去の取組実績を踏まえた新設組織の入学者数の見込みに関する分析<br>R5年度は286校、R6年度は287校に高校訪問を実施。年間1～4回訪問しており、延べR5年度は1227回、R6年度は1215回の実績がある。<br>システム情報学科受験者はR6年度では250名おり、その内高校訪問対象校からの受験者は221名である。また、システム情報学科への入学者113名の内、103名が高校訪問対象校からの入学である。同じくR5年度では222名が受験者の内、高校訪問対象校からは196名が受験。入学者は103名の内91名が該当する。 |
| うち受験対象者数 (b) | 222人          | 250人          |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
| うち受験者数 (c)   | 196人          | 221人          |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
| うち入学者数 (d)   | 91人           | 103人          |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
| (受験率 c/b)    | 88. 3%        | 88. 4%        |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
| (入学率 d/b)    | 41. 0%        | 41. 2%        |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |